LIXIL

ジャンボスライドN-AL型 Eタイプ（電動） 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

警告

●門扉は人や車が出入りするためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●控え柱の取付けにラチェットレンチ、ソケット（呼び10）が必要ですので、準備してください。
●チェーンの取付けに六角レンチ（呼び2.0、3.0、4.0、6.0）が必要ですので、準備してください。

＜施工上のご注意 つづき＞

注 意

●扉走行床面は水平に仕上げてください。
●電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
●製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後に、緩みがない事を確認してください。
・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。

ネジ種類	タップ側材質		
	鋼材	アルミ	樹脂
φ4ネジ	1.5 N·m	1 N·m	0.75 N·m
M4ネジ			
φ5ネジ	3 N·m	1.5 N·m	−
M6ボルト	5 N·m	2.5 N·m	−
M8ボルト	25 N·m	12.5 N·m	−

ポイント

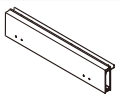
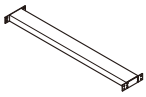
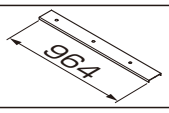
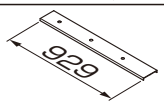
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

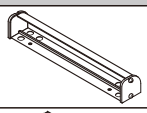
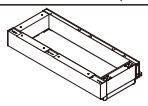
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法…… 10
　1. E1 タイプ…… 10
　2. E2 タイプ…… 12
　3. E3 タイプ…… 14
　4. E4 タイプ…… 16
　5. E5 タイプ…… 18
　6. E6 タイプ…… 20
　7. 本体連結仕様…… 22
3　本体の施工…… 23
　1. 台車の組立て…… 23
　2. 台車の設置…… 27
　3. 台車の連結…… 28
　4. フレームの組立て…… 29
　5. 框の取付け…… 33
4　パネルの施工…… 37
　1. E1・E2・E3パネルの場合…… 37
　2. E4パネルの場合…… 38
　3. E5パネルの場合…… 40
　4. E6パネルの場合…… 42
　5. 笠木の取付け…… 47
5　部品の取付けと調整…… 48

1　梱包明細表

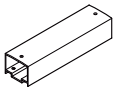
【1】パネルフレーム

名　　称	略　　図	員　　数					
		単　独	先　頭	中　間	後　部		
					L10	L20	L30
上桟		1	1	1	1	1	1
中桟		2	2	3	1	2	3
桟溝カバー端部		4	2	–	2	2	2
桟溝カバー中間部		2	4	6	–	2	4

【2】台車

名　　称	略　　図	員　　数			
		単　独	先　頭	中　間	後　部
側桁前カバー		1	1	–	–
台車		1	1	1	1

【3】控え柱

名　　称	略　　図	員　　数
控え柱（横）		1
控え柱（縦）		1
控え柱ブラケット（上）		1
控え柱ブラケット（中間）		1
控え柱ブラケット（下）		1
【3-1】M6×16六角ボルト（PW+SW）		12
【3-2】M6×12トラス小ネジ		4
【3-3】M6×20六角ボルト（PW+SW）		2
【3-4】M6×35六角ボルト		2
【3-5】M6平座金		2
【3-6】M6バネ座金		2

【4】電動チェーン

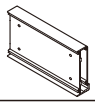
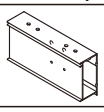
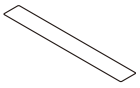
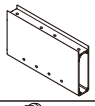
名　　称	略　図	員　数
チェーンジョイントリンク		2
チェーンテンショナー（1）		1
チェーンテンショナー（2）		1
チェーンテンショナー（3）		1

名　　称	略　図	員　数
ローラーチェーン		1
【4-1】M5バネ座金		2
【4-2】M5×20六角穴付ボルト		2
【4-3】M5平座金		2
【4-4】M4バネ座金		4
【4-5】M4×12六角穴付ボルト		4
【4-6】M4平座金		4
【4-7】M8×60六角穴付ボルト		1
【4-8】M4×5六角穴付止めネジ		1

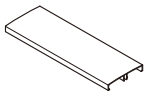
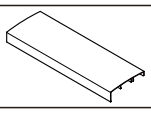
【5】框

名　　称	略　図	員　数		
		E1,3,4,6	E2	E5
戸当り框		1	–	1
E2戸当り框		–	1	–
後框		1	1	–
E5後框		–	–	1
笠木端部キャップ		2	1	–
E2笠木端部キャップ		–	1	–
E5框キャップ右		–	–	1
E5框キャップ左		–	–	1
戸当り框下キャップ		1	1	2
後框下キャップ		1	1	–
【5-1】M4×10トラス小ネジ		4	4	4

【6】組立部品

名　　称	略　図	員　数					
		単　独	先　頭	中　間	後　部		
					L10	L20	L30
戸車セット		4	2	2	4	4	4
チェーンホルダA端部カバー		左右各1	左右各1	–	–	–	–
下桟連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
後桁連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
転倒防止金具		4	2	2	4	4	4
前後ストッパー		1	1	–	–	–	–
連結部シール		–	–	1	1	1	1
上桟スリーブ連結		–	–	1	1	1	1
【6-1】M8×16六角ボルト（PW緩み止め付）		6	3	8	12	11	11
【6-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		18	18	18	6	12	18
【6-3】φ5×10サラタッピンネジ3種		16	16	24	8	16	24
【6-4】M6×16ナベ小ネジ（PW+SW）		4	2	–	2	2	2
【6-5】M8×20六角ボルト（PW緩み止め付）		6	4	–	2	2	2
【6-6】M6×16六角ボルト（PW+SW）		16	10	4	10	10	10
【6-7】M6×12極低頭六角穴付ボルト		4	2	–	2	2	2
【6-8】M6×20ナベ小ネジ（PW+SW）		–	–	4	4	4	4
【6-9】M6×20六角ボルト（PW+SW）		–	–	10	10	10	10
【6-10】M4×16トラス小ネジ		4	4	–	–	–	–

【7】上桟笠木

名　　称	略　図	員　数	
		E1,2,3,4,6	E5
上桟笠木		1	―
E5上桟笠木		―	1

【8】パネル

名　　称	略　　図	員　　数				
		E1	E2	E3	E4	E5
E1パネル		1	–	–	–	–
E2パネル		–	1	–	–	–
E3パネル		–	–	1	–	–
E4パネル		–	–	–	1	–
E5パネル		–	–	–	–	1
【8-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		4	4	4	2	4
【8-2】φ5×30ナベドリルネジ		1	1	1	–	–

【9】パネル押え

名　　称	略　　図	員　　数			
		E4		E5	
		端　部	中　間	端　部	中　間
E4パネル押え端部		2	–	–	–
E4パネル押え中間		–	1	–	–
パネル押えカバー		–	1	–	1
E5パネル押え端部		–	–	2	–
E5パネル押え中間		–	–	–	1
【9-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		6	–	6	–
【9-2】φ5×35ナベドリルネジ		–	4	–	–
【9-3】φ5×50ナベドリルネジ		–	–	–	4

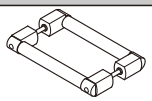
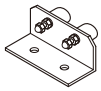
【10】E6意匠板部材

名　　称	略　　図	員　数
E6意匠板		1

【11】E6取付部材

名　　称	略　　図	員　　数											
		端　部				中　間				連接用			
		H12	H14	H16	H18	H12	H14	H16	H18	H12	H14	H16	H18
E6板張り端部枠		2	2	2	2	–	–	–	–	–	–	–	–
E6板張り端部取付材右		1	1	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–
E6板張り端部取付材左		1	1	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–
E6板張り中間取付材右		–	–	–	–	1	1	1	1	1	1	1	1
E6板張り中間取付材左		–	–	–	–	1	1	1	1	1	1	1	1
パネル押えカバー		–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1	1
パネル押え中間		–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1	1
上金具		3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1
下金具		3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1
【11-1】φ4×13 ナベドリルネジ		15	15	15	15	5	5	5	5	5	5	5	5
【11-2】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		31	35	37	41	21	25	27	31	21	25	27	31
【11-3】φ5×35 ナベドリルネジ		–	–	–	–	–	–	–	–	4	4	4	4

【12】電動部品セット

名　　称	略　　図	員　　数	
		片　引　き	両　引　き
ハンドルセット		1	2
落し棒		1	2
落し棒受け		2	4
後部ストッパー		1	2
前ストッパー		1	2
スペーサー		2	4
【12-1】M10×60後施工アンカーおねじ		2	4
【12-2】M10×40後施工アンカーめねじ		2	4
【12-3】M10バネ座金		2	4
【12-4】M10×25六角ボルト		2	4
【12-5】M10平座金		2	4
【12-6】M6×30ナベ小ネジ（SW）		2	4
【12-7】M4×16六角穴付ボルト		1	2
【12-8】M4バネ座金		1	2
取付説明書〈D630〉	−	1	1
取扱説明書〈UD098〉	−	1	1
取付説明書〈D632〉	−	1	1

2 基本寸法

1. E1タイプ

1-1 片開き

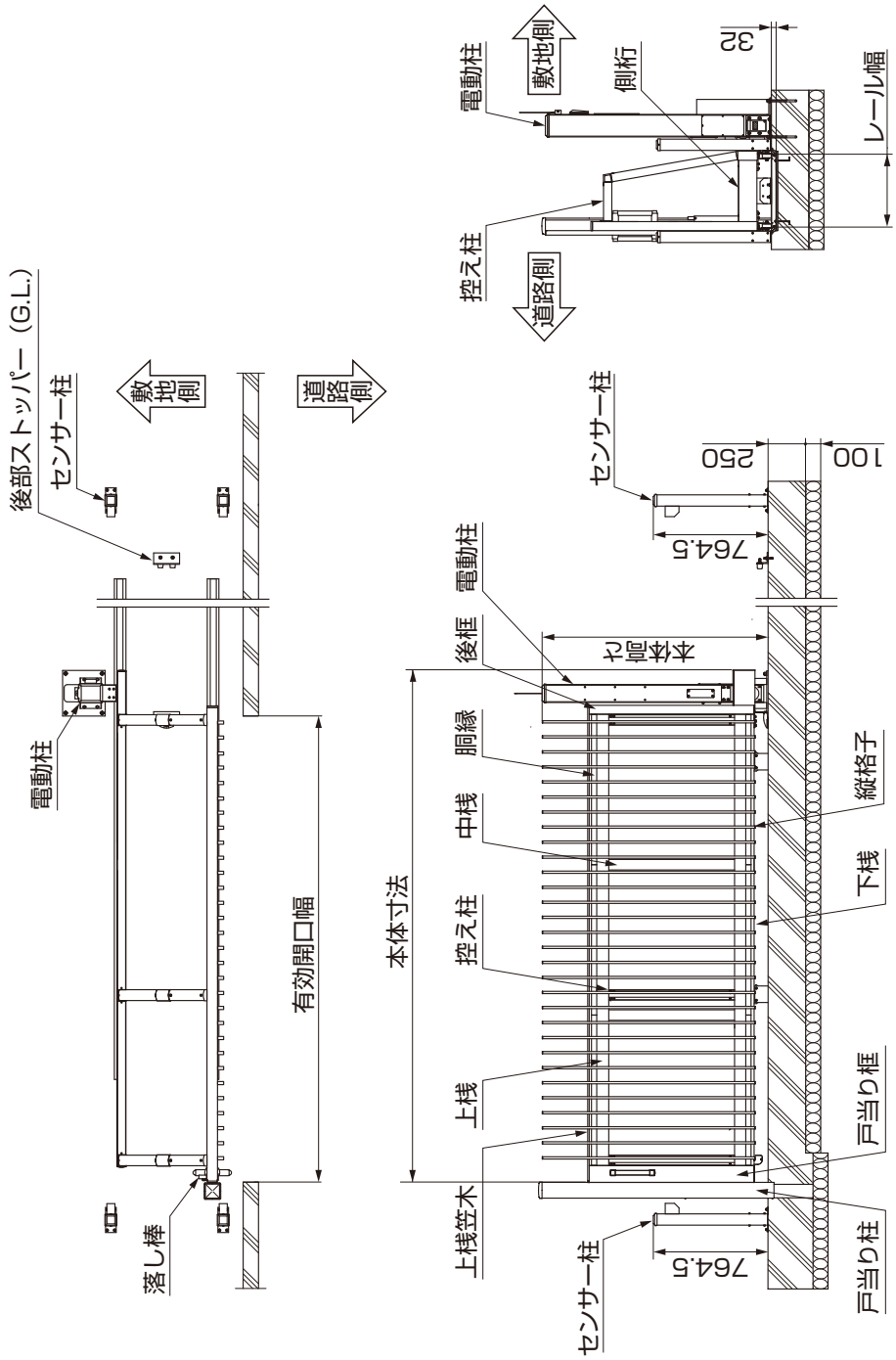


表1-2

	本体高さ	レール幅
H15	1500	488
H18	1800	650
H20	2000	

表1-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408
W100	10000	10408

1-2 両開き

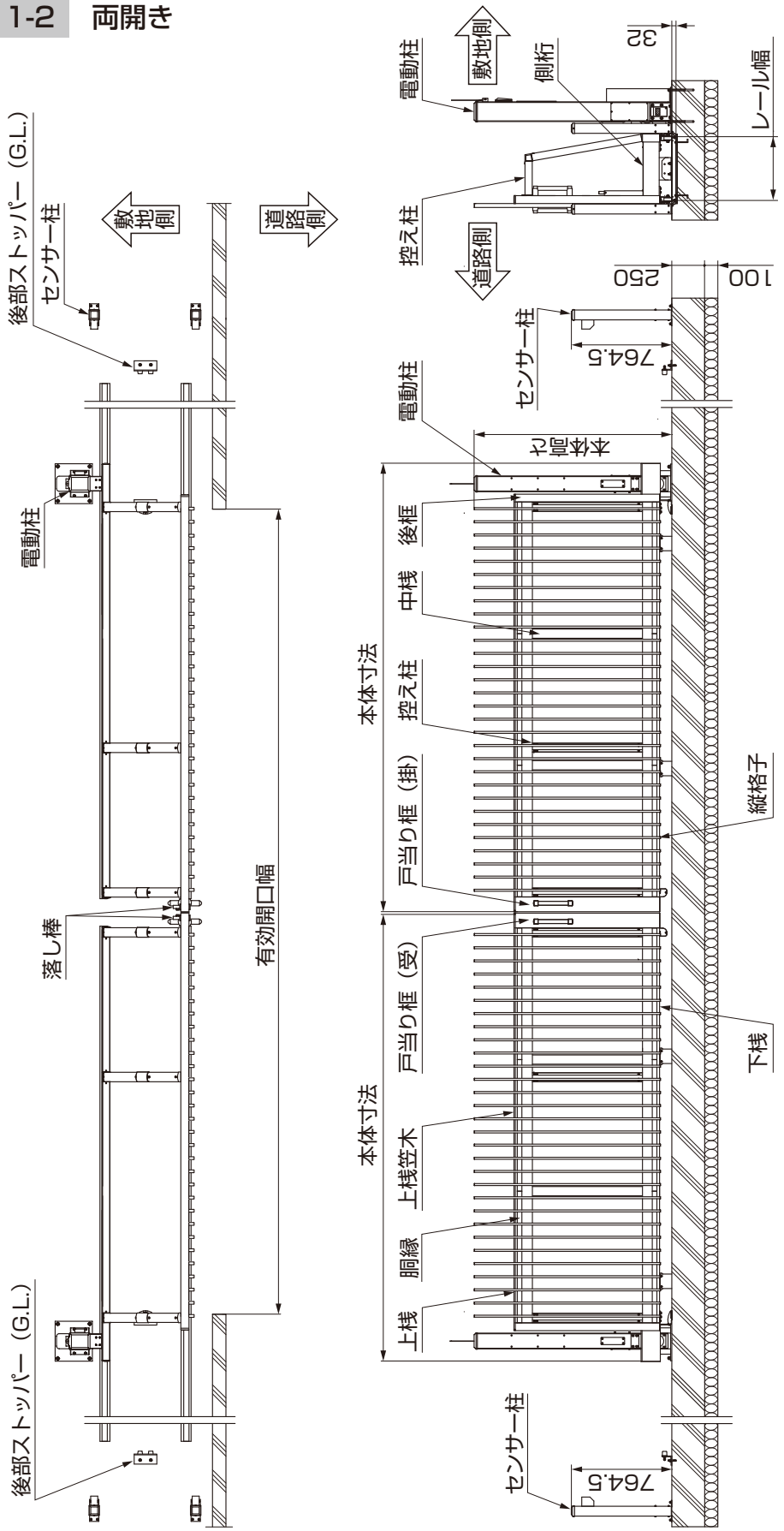


表1-4

	本体高さ	レール幅
H15	1500	488
H18	1800	650
H20	2000	

表1-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408
W100-100	20018	10408

2. E2タイプ

2-1 片開き

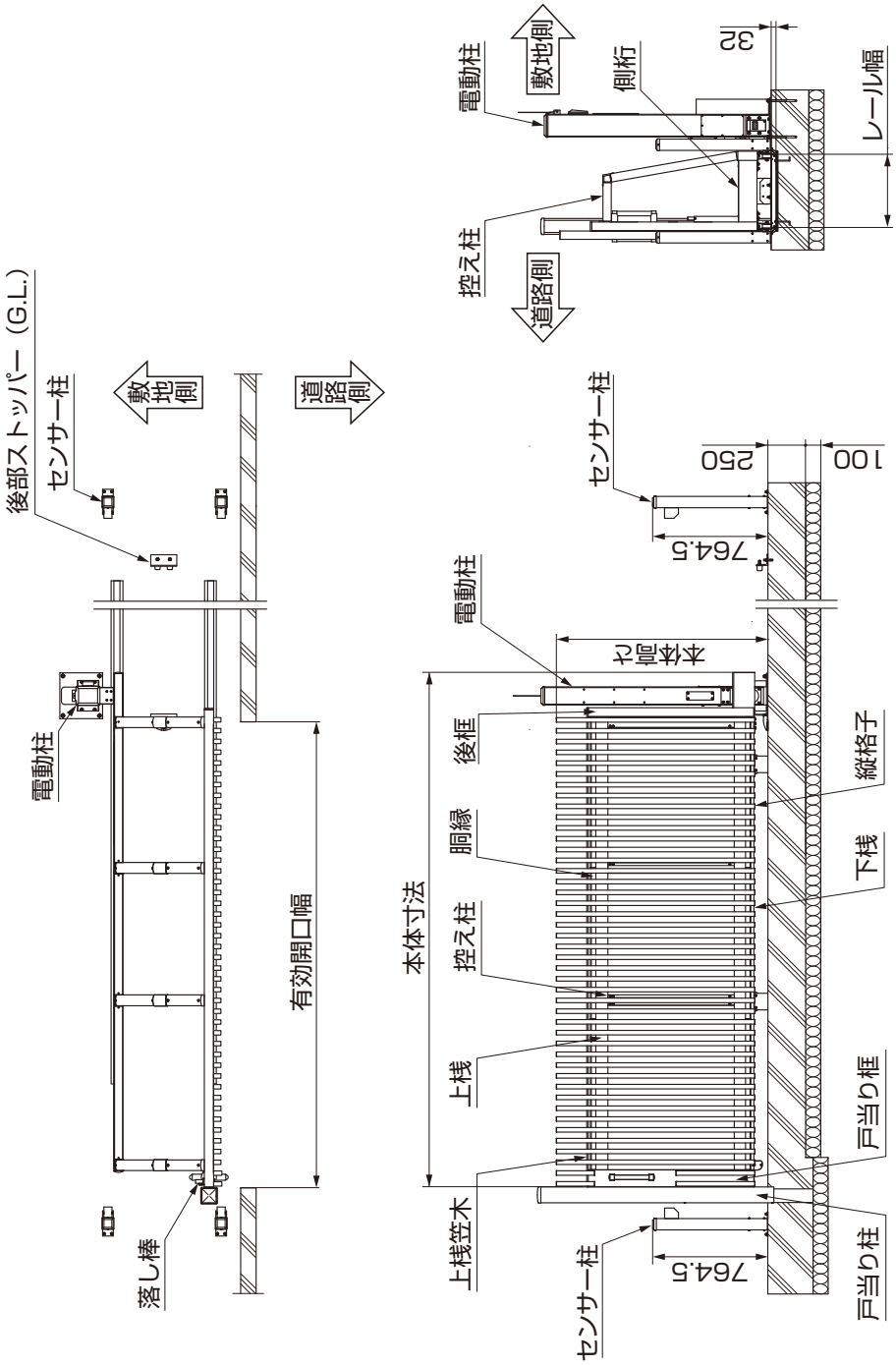


表2-2

	本体高さ	レール幅
H14	1400	488
H16	1600	
H18	1800	650
H20	2000	

表2-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408

2-2 両開き

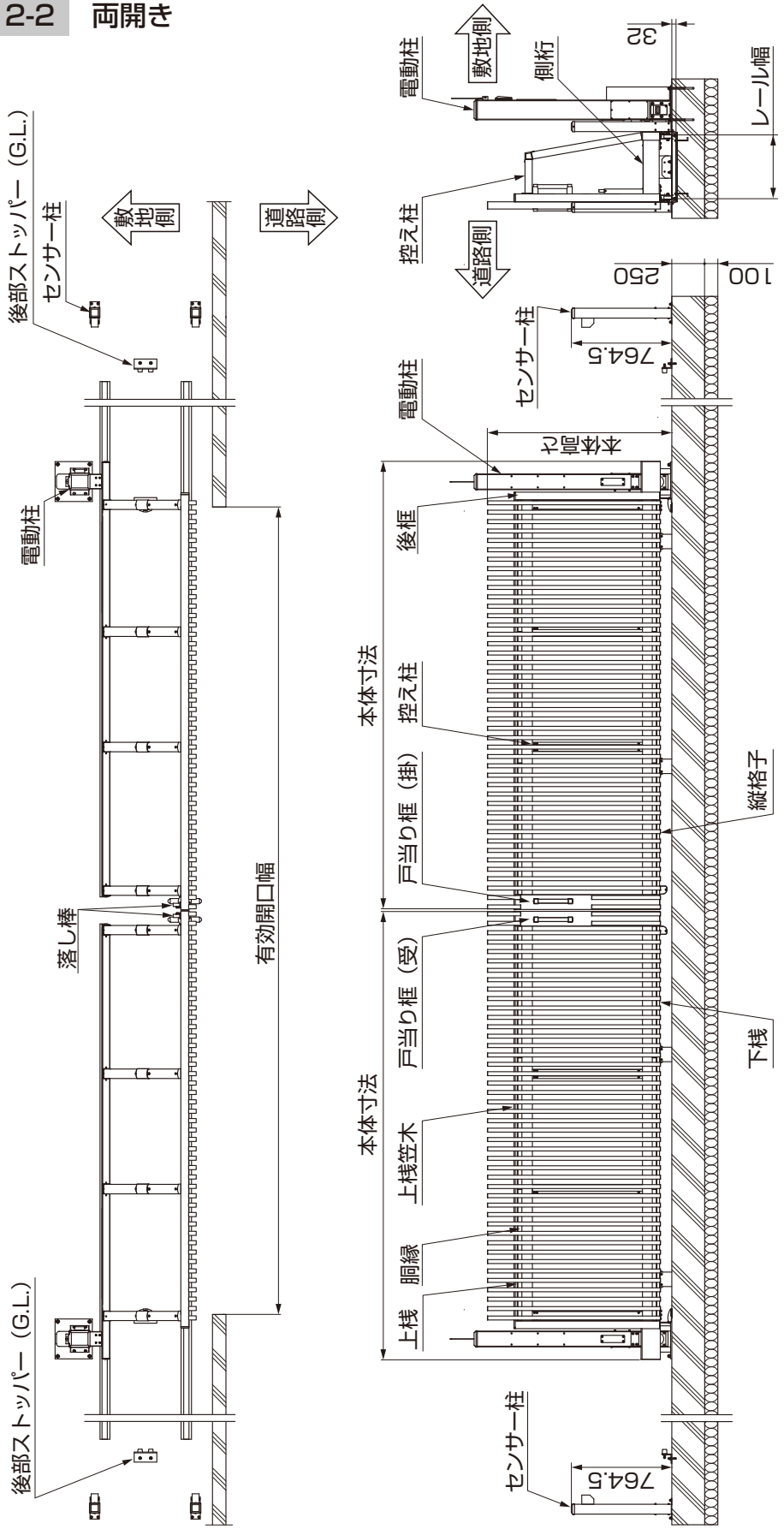


表2-4

	本体高さ	レール幅
H14	1400	488
H16	1600	
H18	1800	650
H20	2000	

表2-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408

3. E3タイプ

3-1 片開き

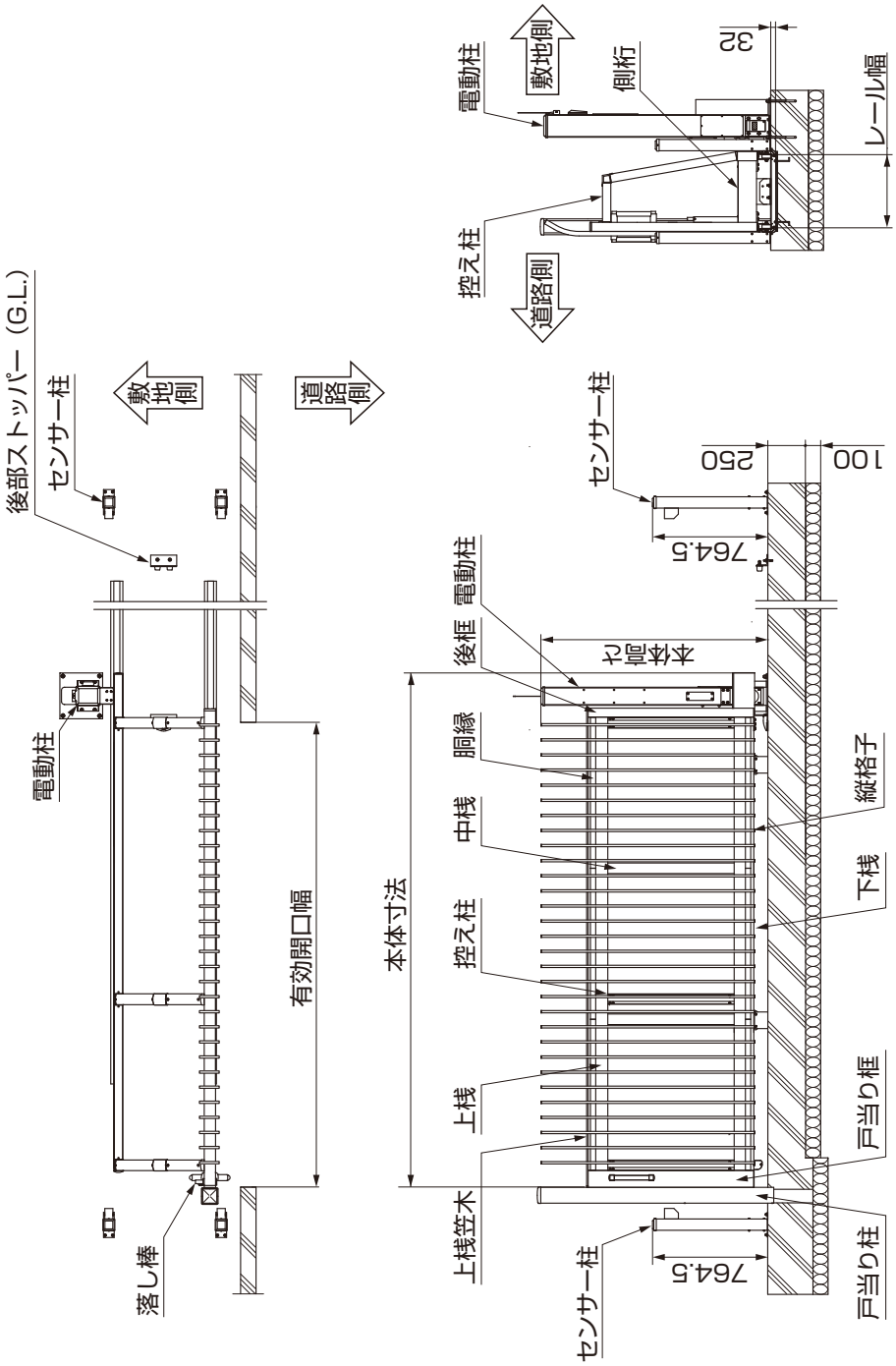


表3-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408
W100	10000	10408

表3-2

	本体高さ	レール幅
H15	1500	488
H18	1800	650
H20	2000	

3-2 両開き

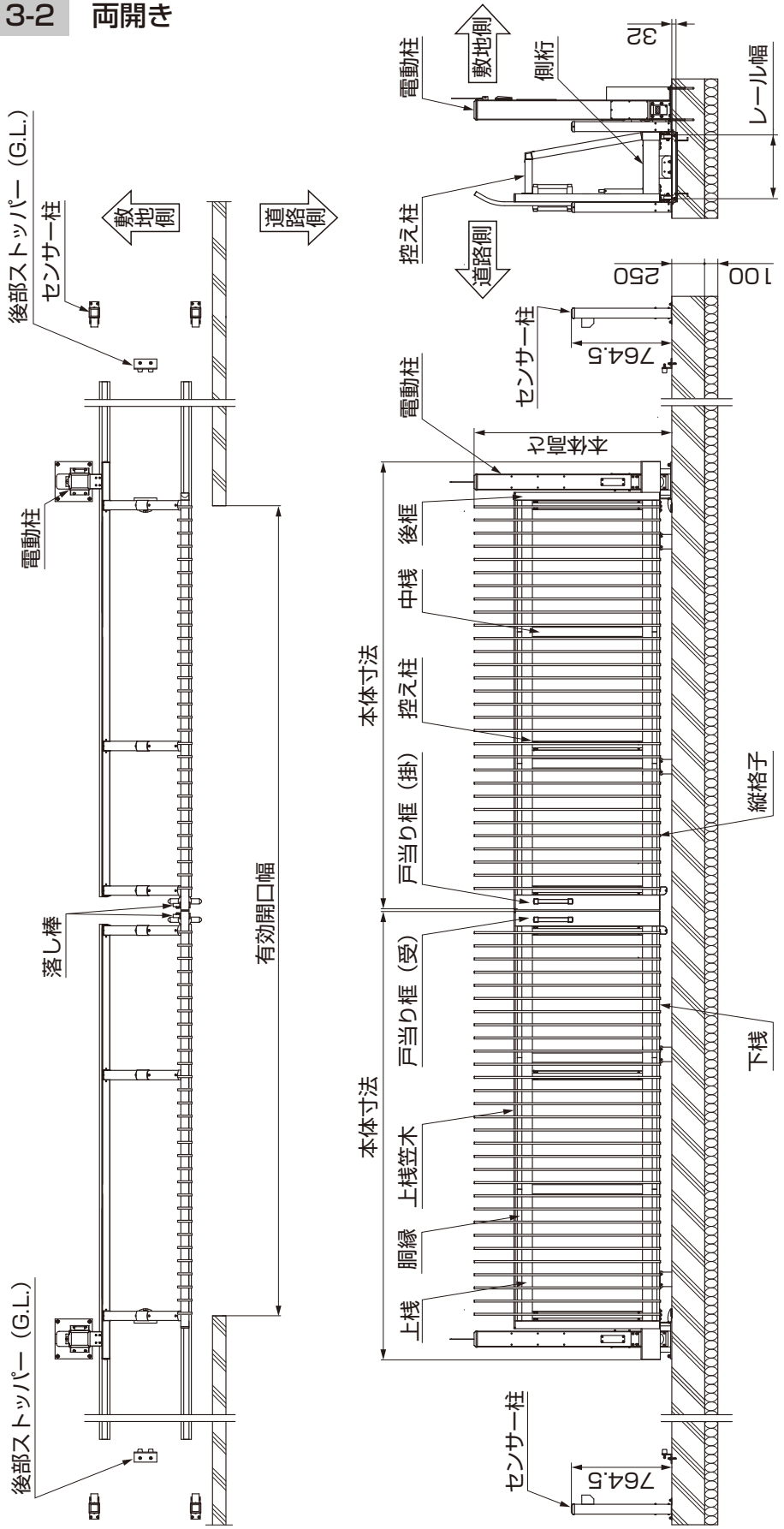


表3-4

	本体高さ	レール幅
H15	1500	488
H18	1800	650
H20	2000	

表3-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408
W100-100	20018	10408

4. E4タイプ

4-1 片開き

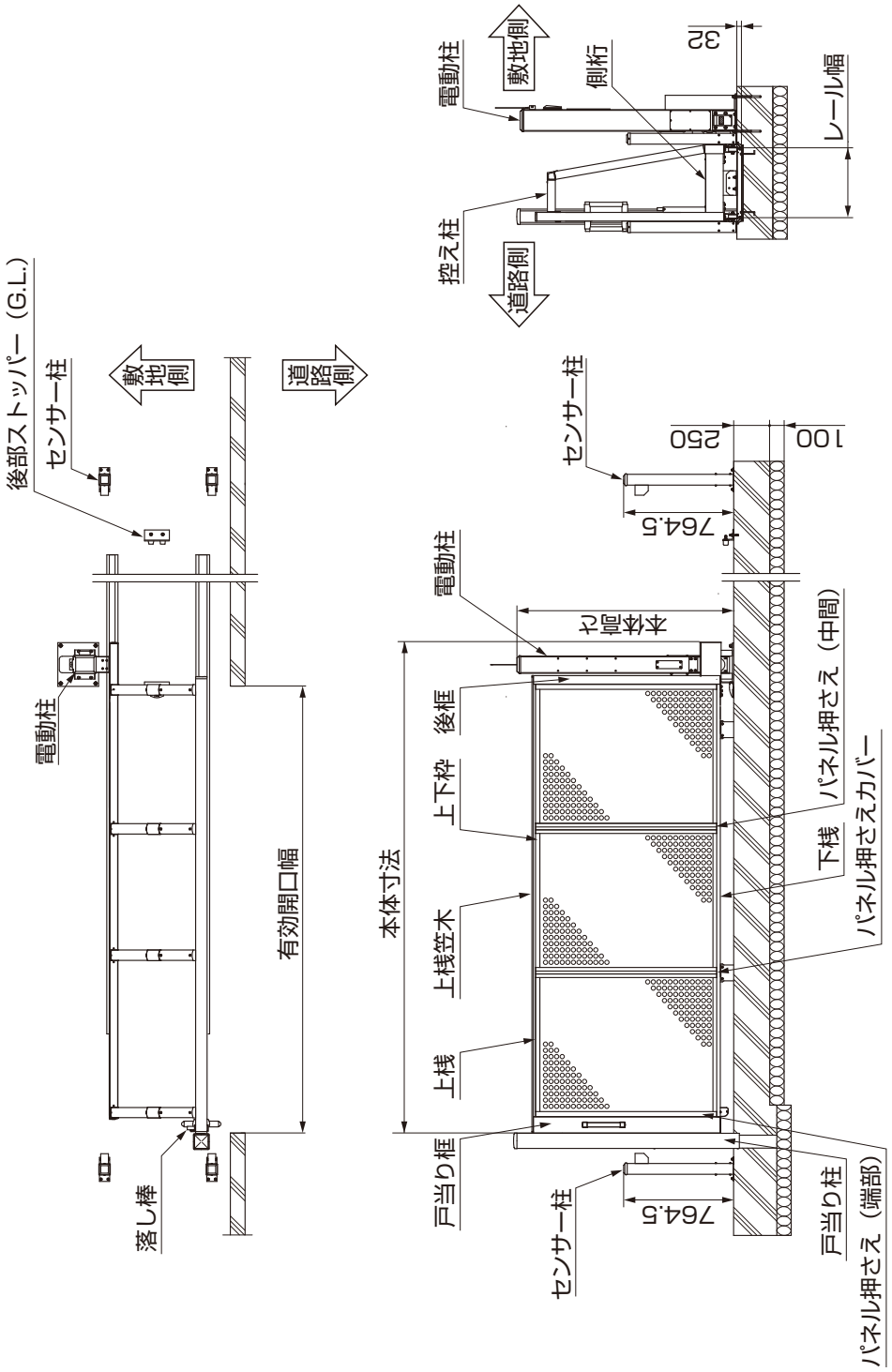


表4-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408
W100	10000	10408

表4-2

	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H14	1400	
H16	1600	650
H18	1800	

4-2 両開き

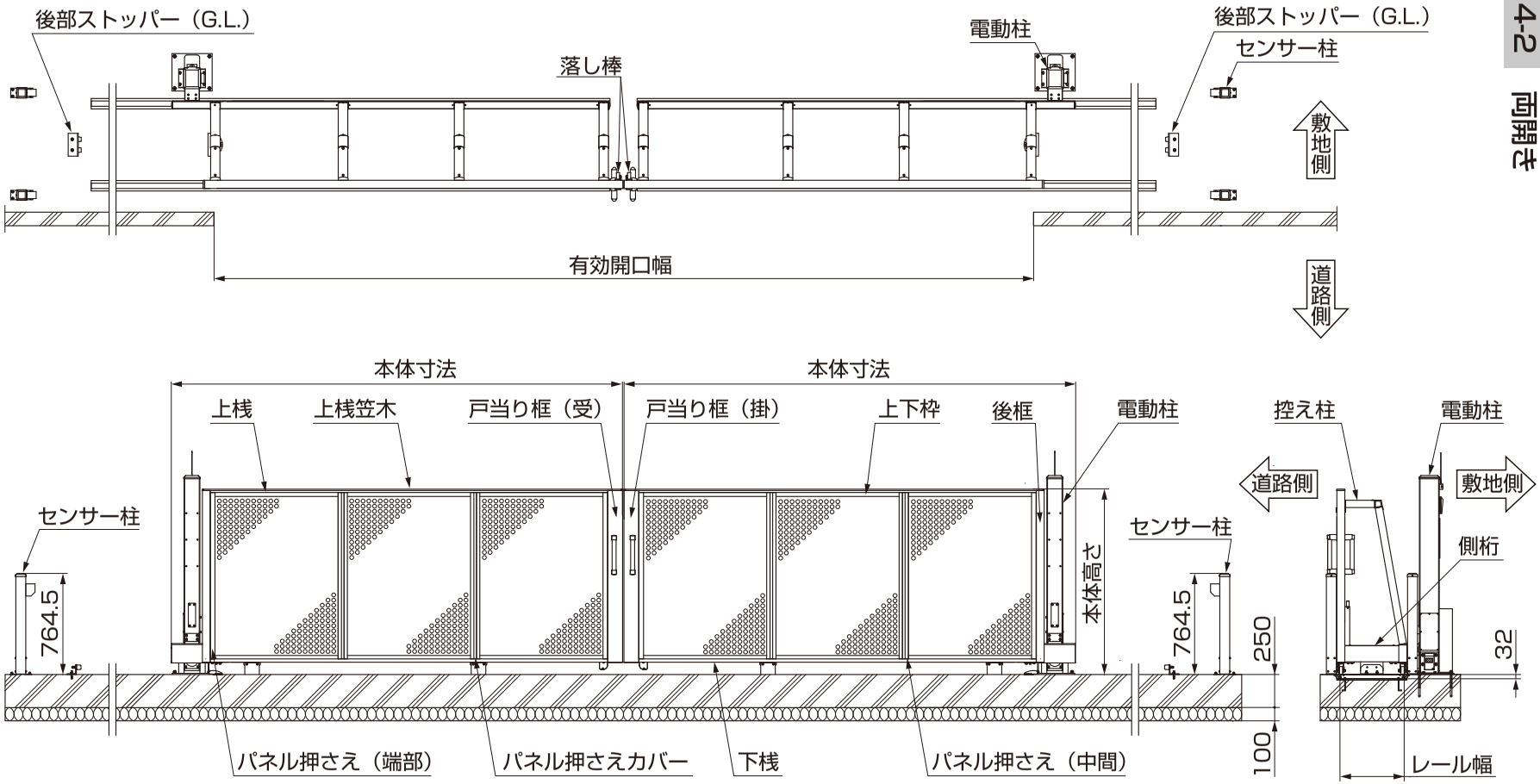


表4-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408
W100-100	20018	10408

表4-4

	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H14	1400	
H16	1600	650
H18	1800	

5. E5タイプ

5-1 片開き

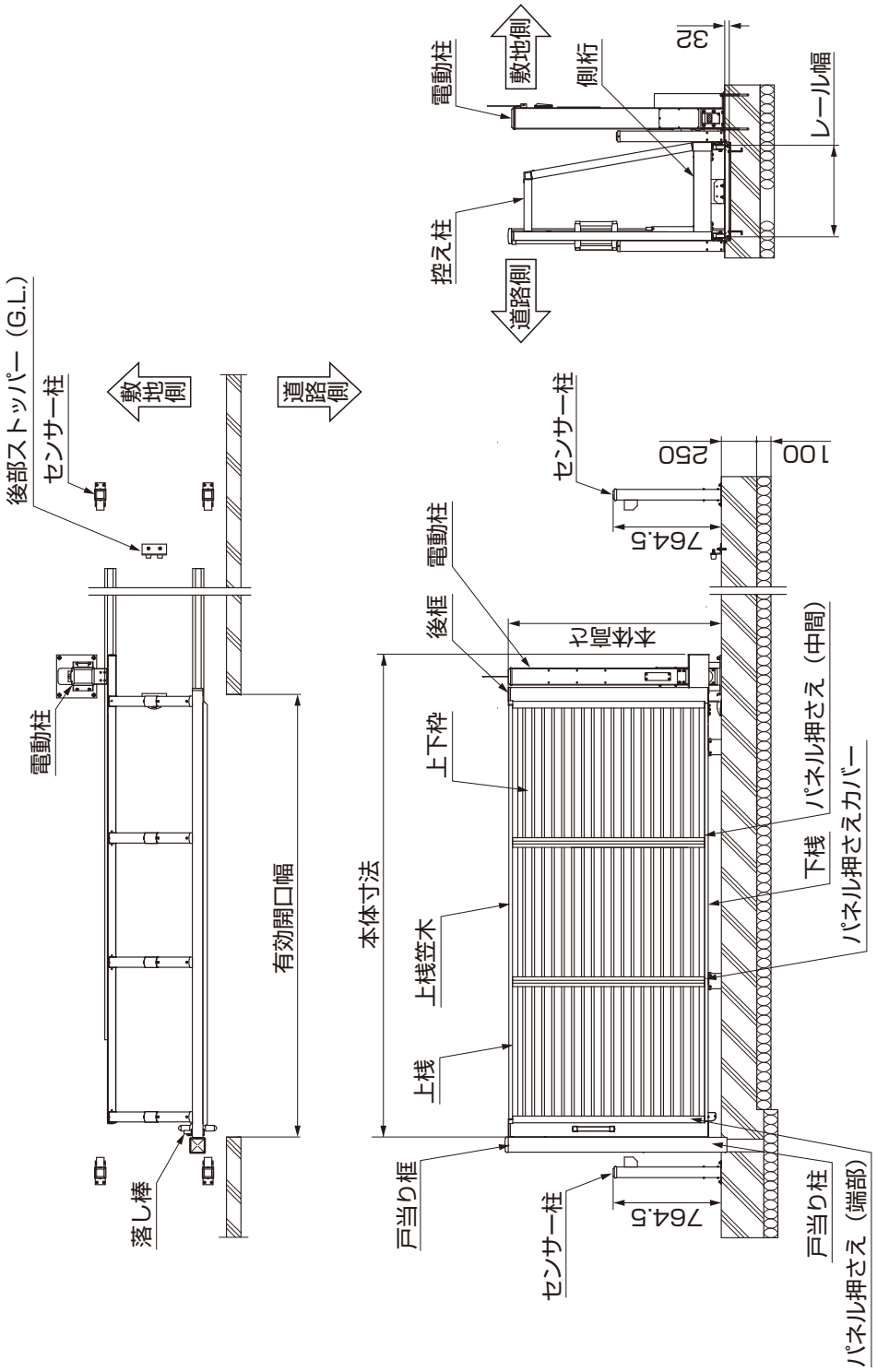


表5-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408

表5-2

	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H15	1500	650
H18	1800	

5-2 両開き

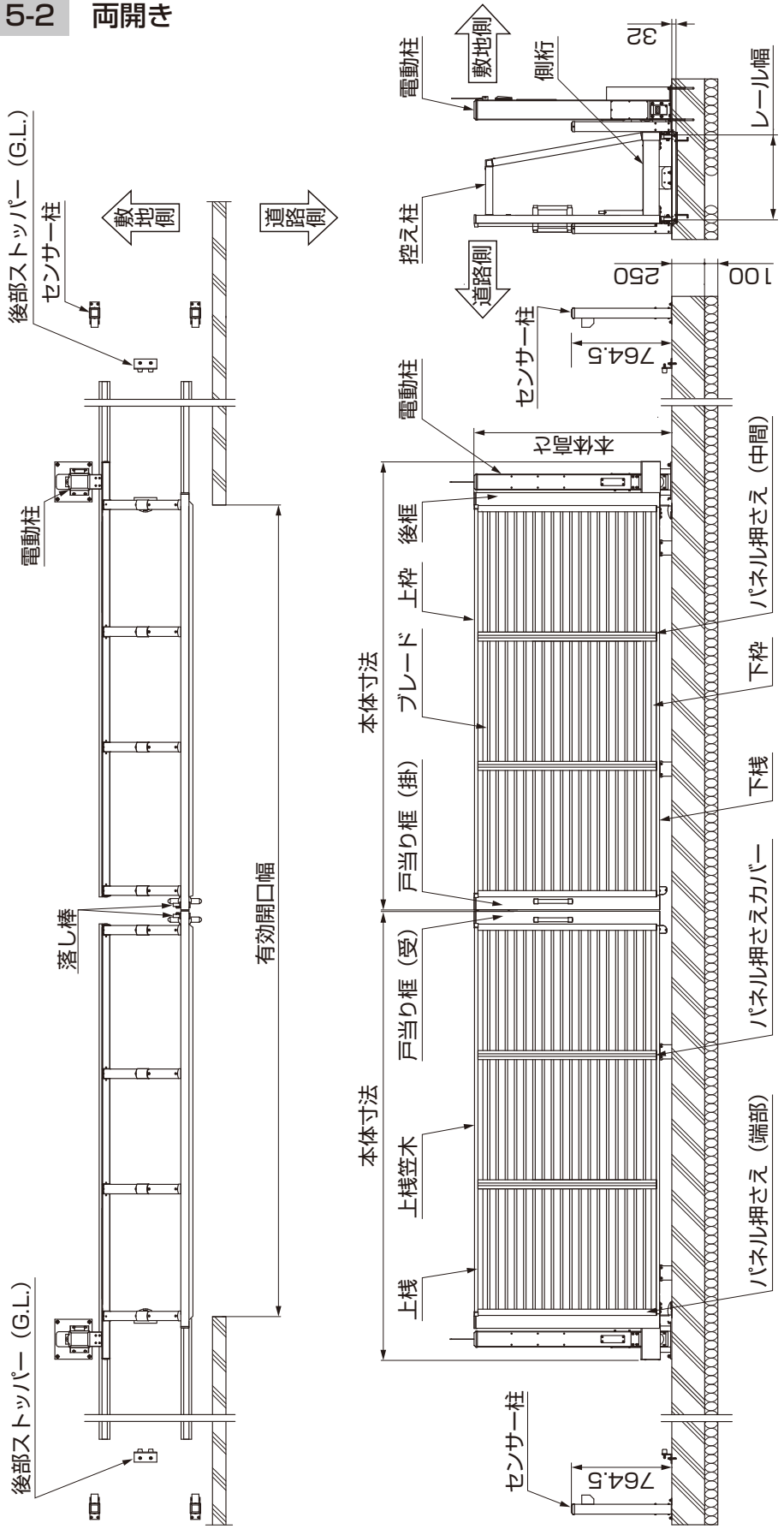


表5-4

	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H15	1500	650
H18	1800	

表5-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408

6. E6タイプ

6-1 片開き

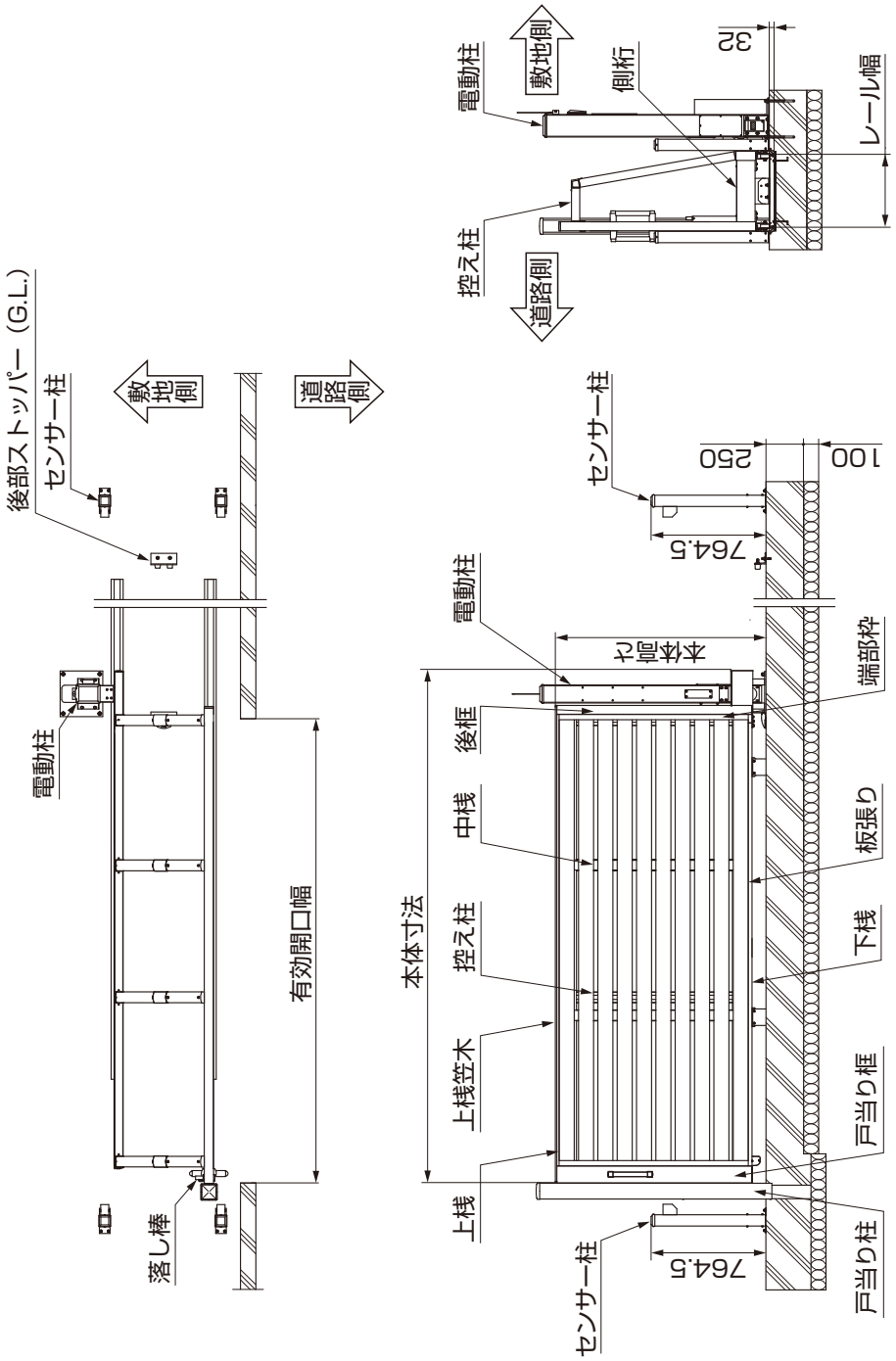


表6-2

	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H14	1400	
H16	1600	650
H18	1800	

表6-1

	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408
W70	7000	7408
W80	8000	8408
W90	9000	9408
W100	10000	10408

6-2 両開き

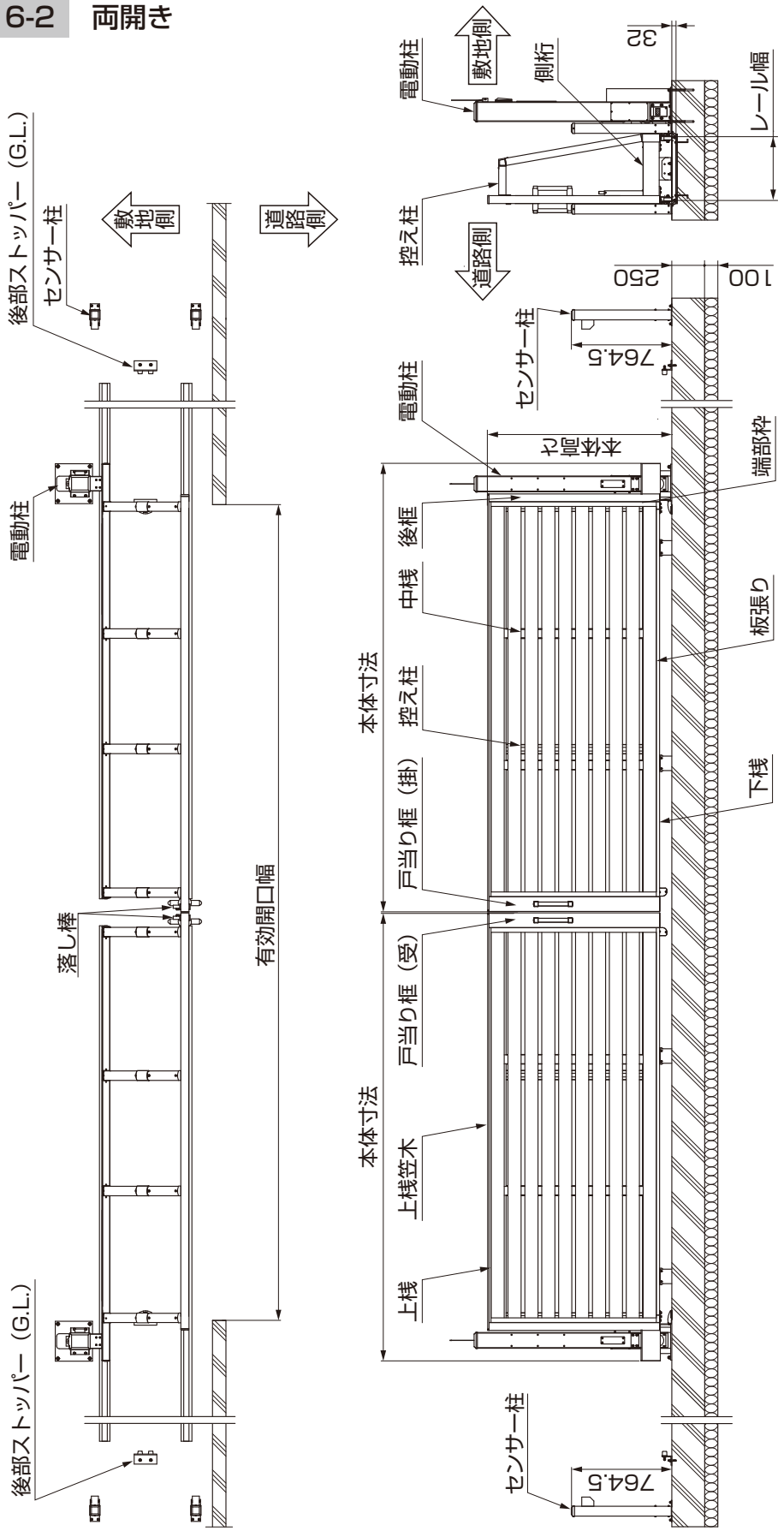


表6-4

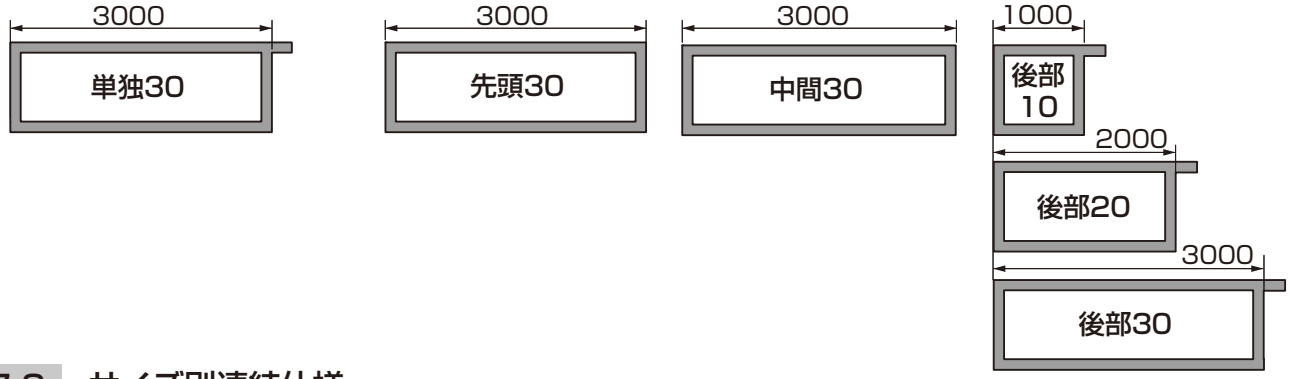
	本体高さ	レール幅
H12	1200	488
H14	1400	
H16	1600	650
H18	1800	

表6-3

	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	3408
W40-40	8018	4408
W50-50	10018	5408
W60-60	12018	6408
W70-70	14018	7408
W80-80	16018	8408
W90-90	18018	9408
W100-100	20018	10408

7.本体連結仕様

7-1 本体ユニット



7-2 サイズ別連結仕様

W30 (単独30)	単独30
W40 (先頭30+後部10)	先頭30 / 後部10
W50 (先頭30+後部20)	先頭30 / 後部20
W60 (先頭30+後部30)	先頭30 / 後部30
W70 (先頭30+中間30+後部10)	先頭30 / 中間30 / 後部10
W80 (先頭30+中間30 +後部20)	先頭30 / 中間30 / 後部20
W90 (先頭30+中間30 +後部30)	先頭30 / 中間30 / 後部30
W100 (先頭30+中間30 +中間30+後部10)	先頭30 / 中間30 / 中間30 / 後部10

D630_201504A

3　本体の施工

1. 台車の組立て

※台車の組立ては梱包材の上で作業を行ってください。

1-1　戸車の取付け

（1）取付け位置の確認

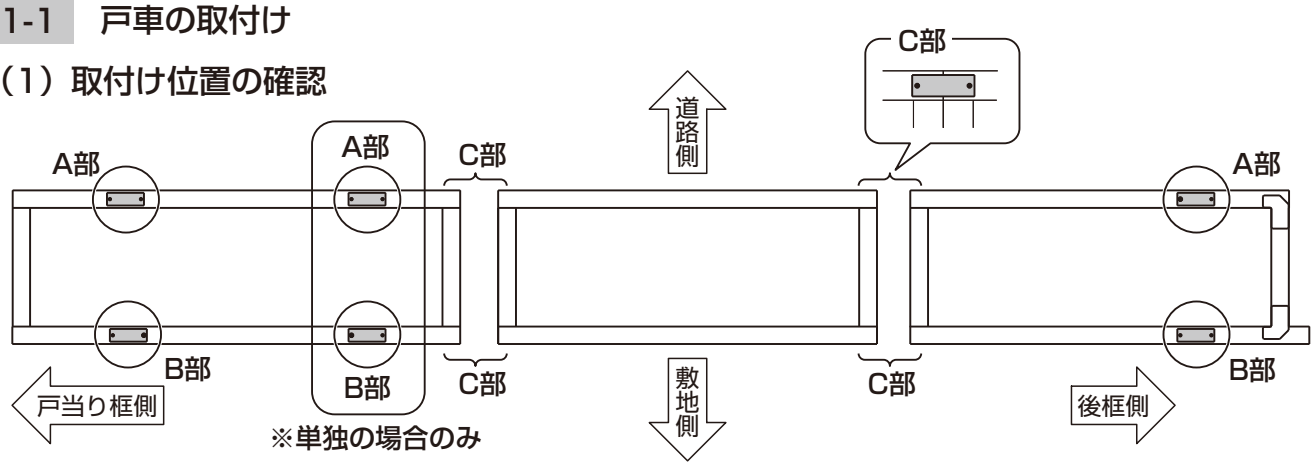


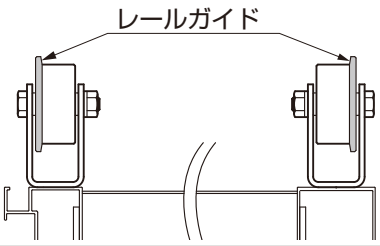
図1-1　先頭台車　戸車取付け位置
単独台車　戸車取付け位置

図1-2　中間台車　戸車取付け位置

図1-3　後部台車　戸車取付け位置

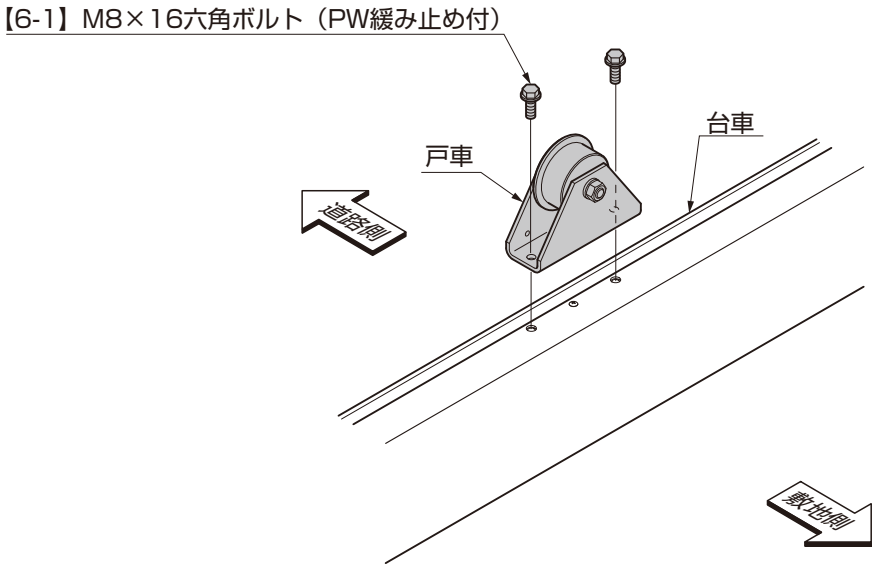
ポイント

●戸車はレールガイドが外側になるように取付けてください。



①戸車の取付け位置を確認してください。

（2）A部の取付け



①台車の下桟に戸車を【6-5】で取付けてください。

1-1　つづき

（3）B部の取付け

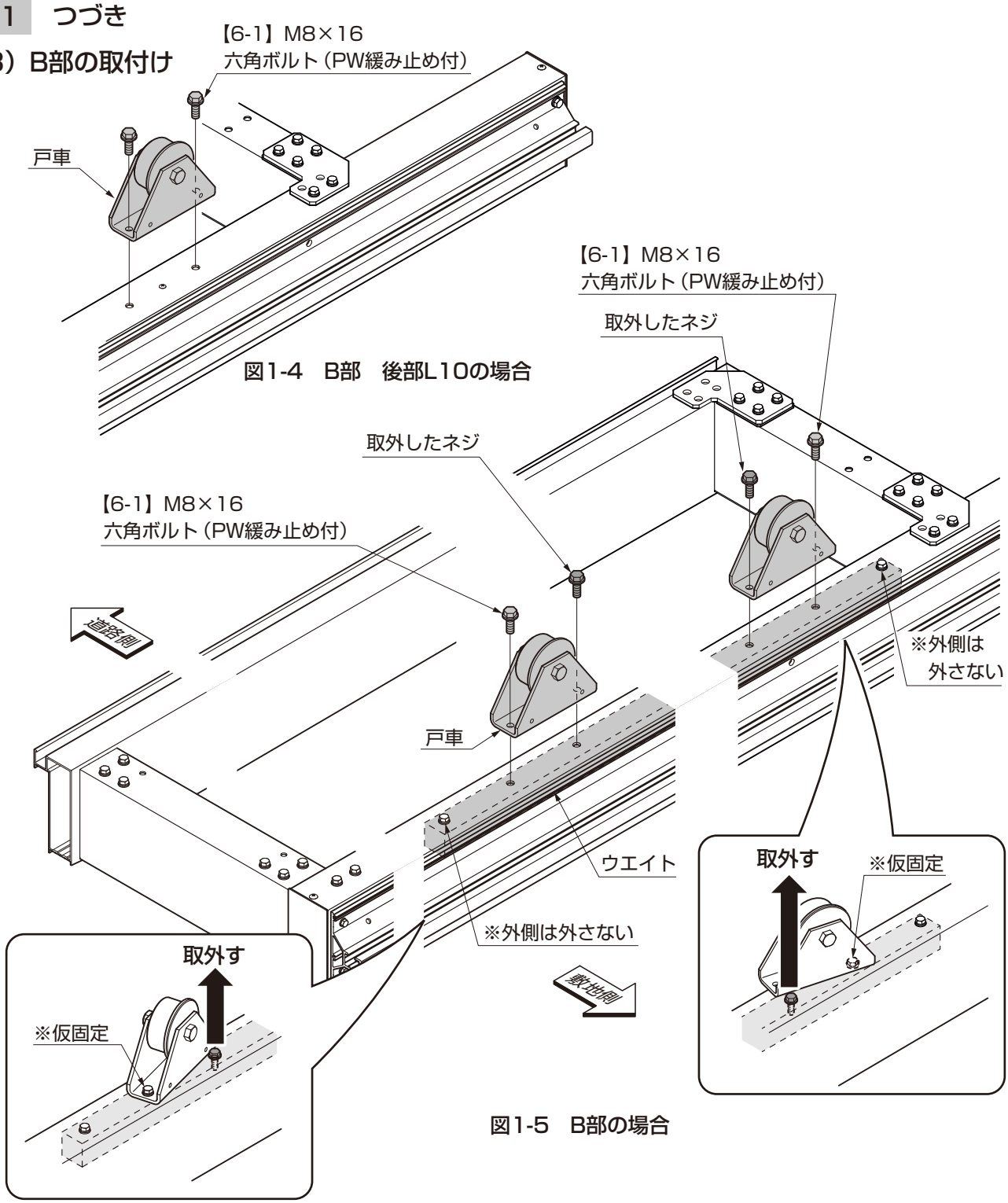


図1-4　B部　後部L10の場合

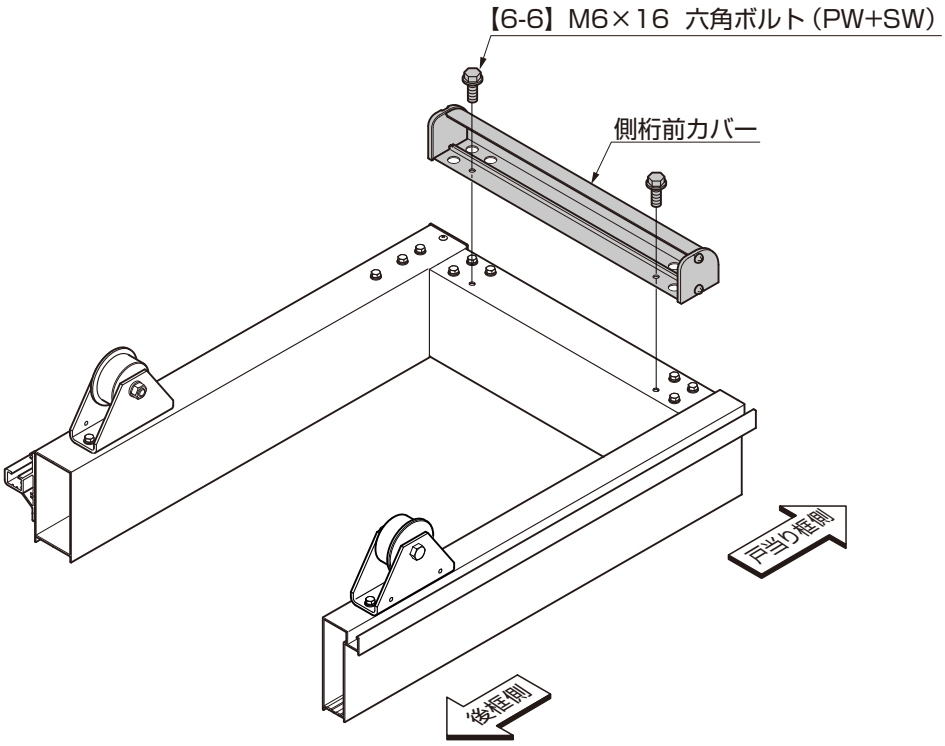
図1-5　B部の場合

①戸車を【6-1】で仮固定してください。
②台車のウエイトを取付けているボルトを1本取り外してください。
③②で取り外したボルトと【6-1】で戸車を取付けてください。

ポイント

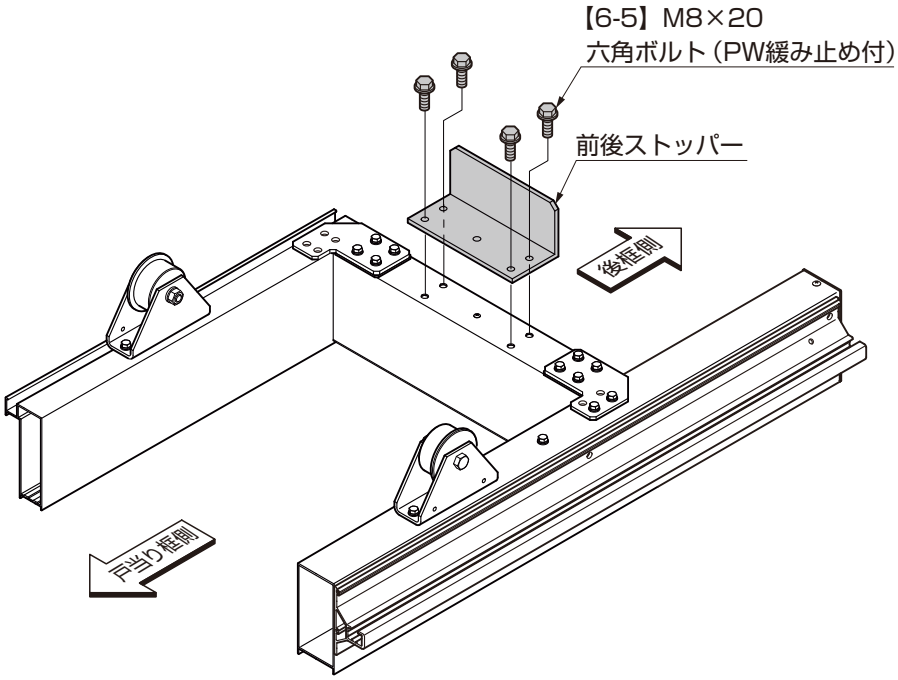
●ウエイトは六角ボルト2本で取付いています。戸車を取付けるために取外すボルトは1本だけです。2本とも取外してしまうとウエイトが外れて、戸車が取付けられなくなります。

1-2　側桁前カバーの取付け　※先頭・単独の場合の作業です。



①側桁前カバーを【6-6】で取付けてください。

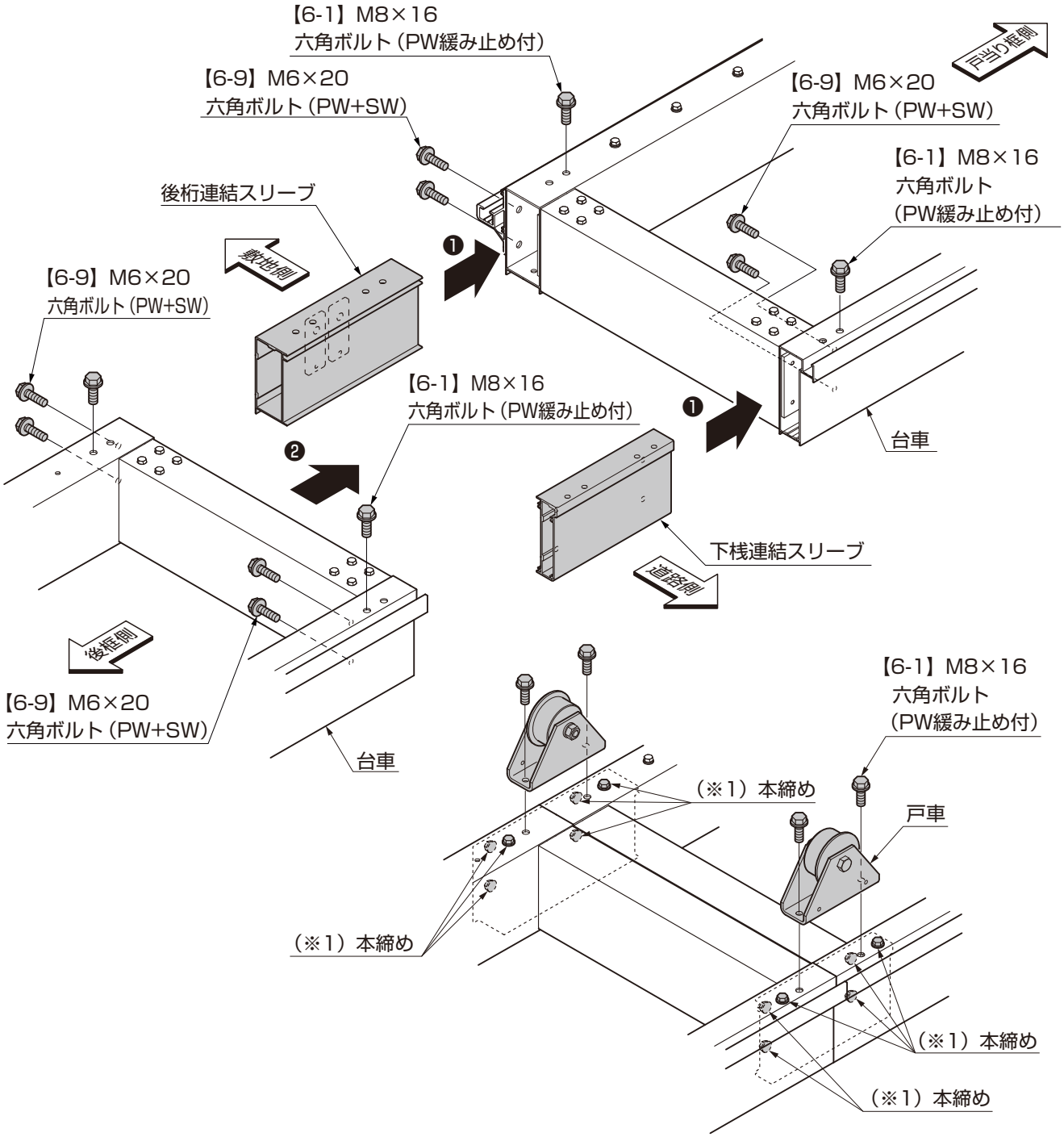
1-3　前後ストッパーの取付け　※後部・単独の場合の作業です。



①前後ストッパーを【6-5】で取付けてください。

1.（つづき）

1-4 連結部（C部）の取付け ※連結の場合の作業です。



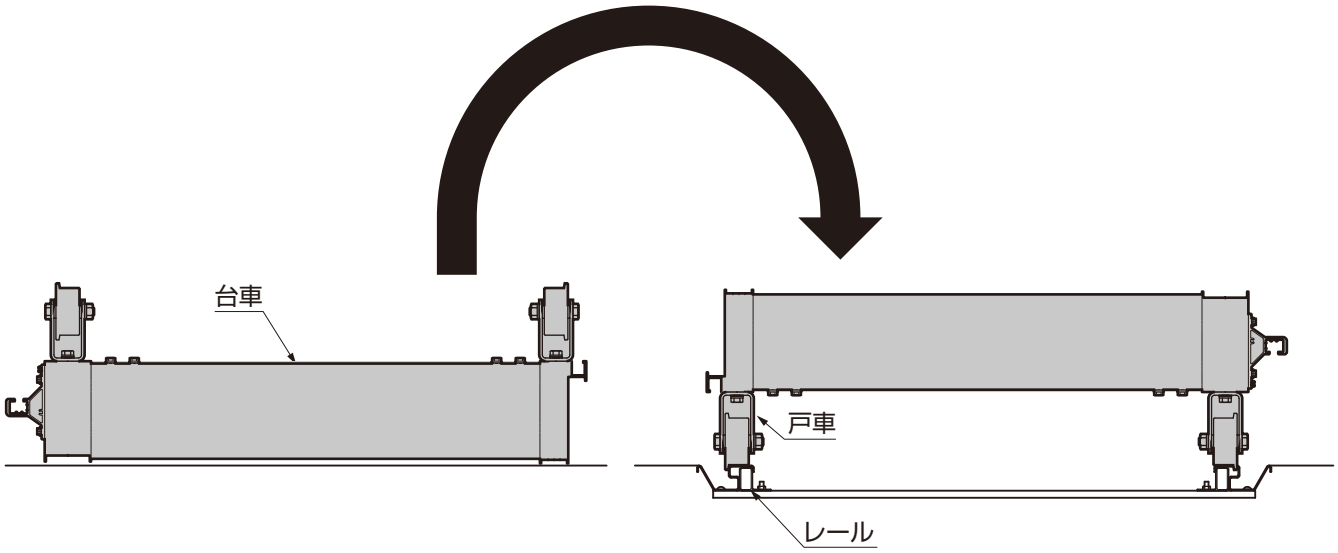
①下桟連結スリーブ、後桁連結スリーブを戸当り框側の台車に差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
②①に後框側の台車を差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
③戸車を【6-1】で取付けてください。
④①および②の仮固定した【6-1】、【6-9】を本締めしてください。（※1）

ポイント

- 後桁連結スリーブは台車に取付いているチェーンケースと共締めで取付けてください。
- 台車の連結は2台毎までとしてください。2台以上の場合はレールに設置してから連結してください。3台以上連結すると重量が重くなり、レールに設置することができなくなる場合があります。

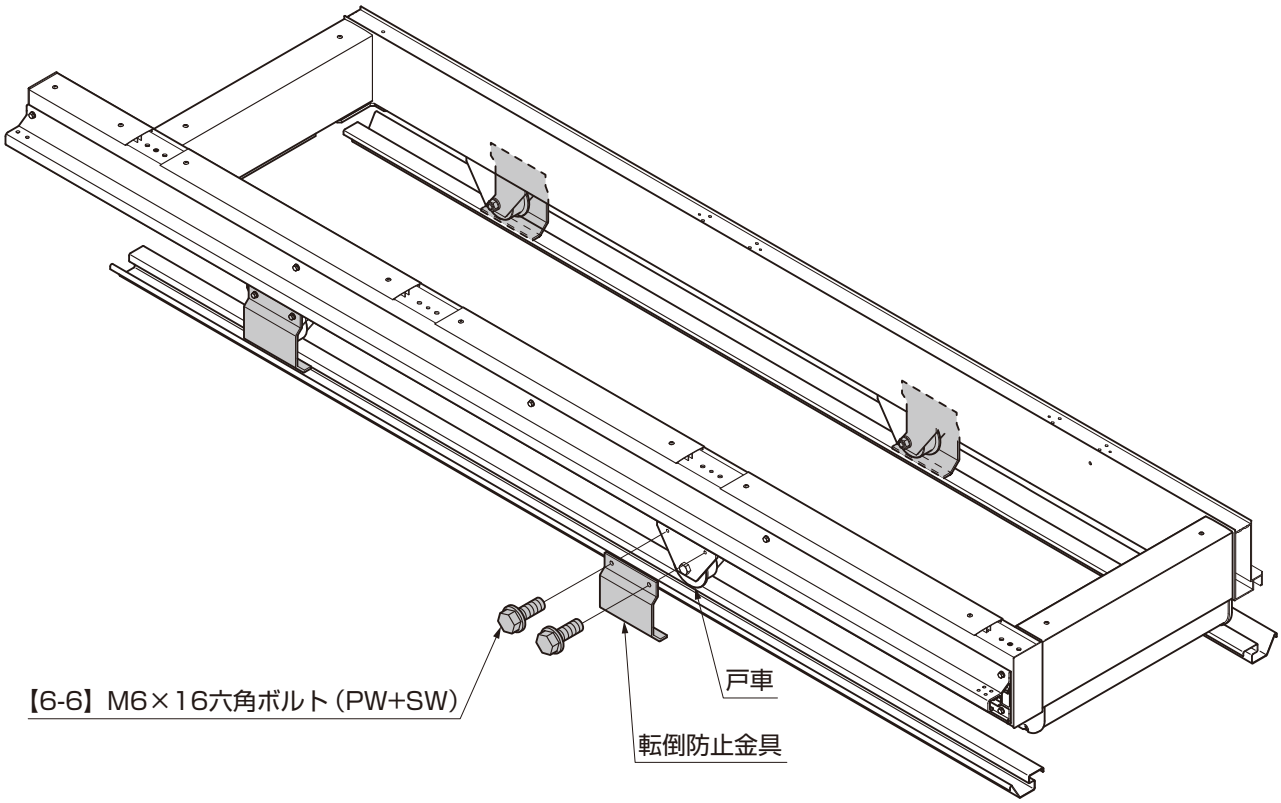
2. 台車の設置

2-1 レールへの設置



①台車を回転させて、レールの上に台車をのせてください。

2-2 転倒防止金具の取付け



①転倒防止金具を戸車に【6-6】で取付けてください。

3. 台車の連結　※3台以上の台車を連結する場合のみの作業です。

【6-9】M6×20
六角ボルト（PW+SW）

台車

後框側

下桟連結スリーブ

【6-9】M6×20
六角ボルト（PW+SW）

台車

【6-1】M8×16
六角ボルト（PW緩み止め付）

後桁連結スリーブ

【6-9】M6×20
六角ボルト（PW+SW）

【6-1】M8×16
六角ボルト（PW緩み止め付）

戸当り框側

図3-1　台車の連結

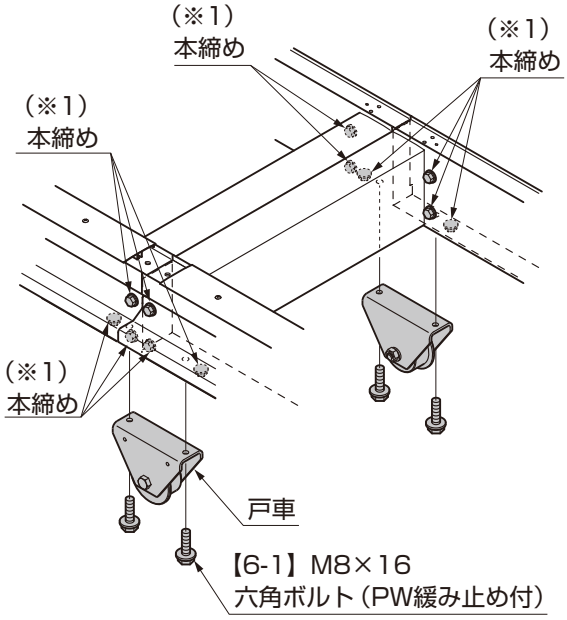


図3-2　戸車の取付け

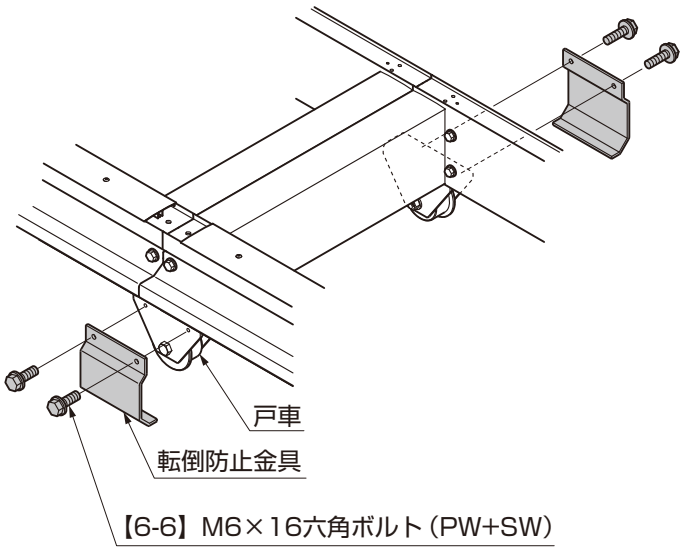
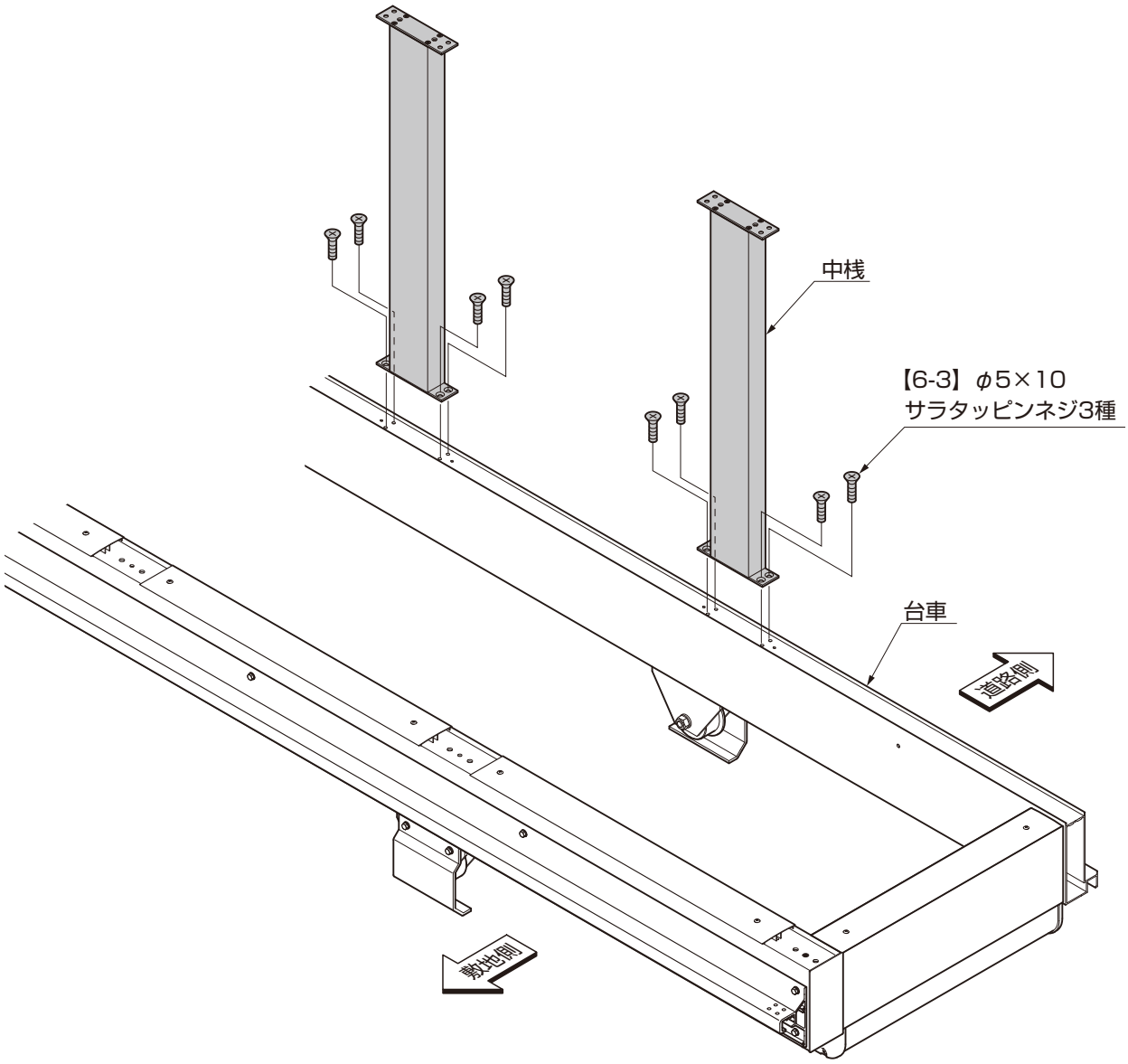


図3-3　転倒防止金具の取付け

①後框側の台車に下桟連結スリーブ、後桁連結スリーブを差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
②①を戸当り框側の台車に差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
③戸車を【6-1】で取付けてください。
④①および②の仮固定した【6-1】、【6-9】を本締めしてください。（※1）
⑤転倒防止金具を戸車に【6-6】で取付けてください。

4. フレームの組立て

4-1　中桟の取付け

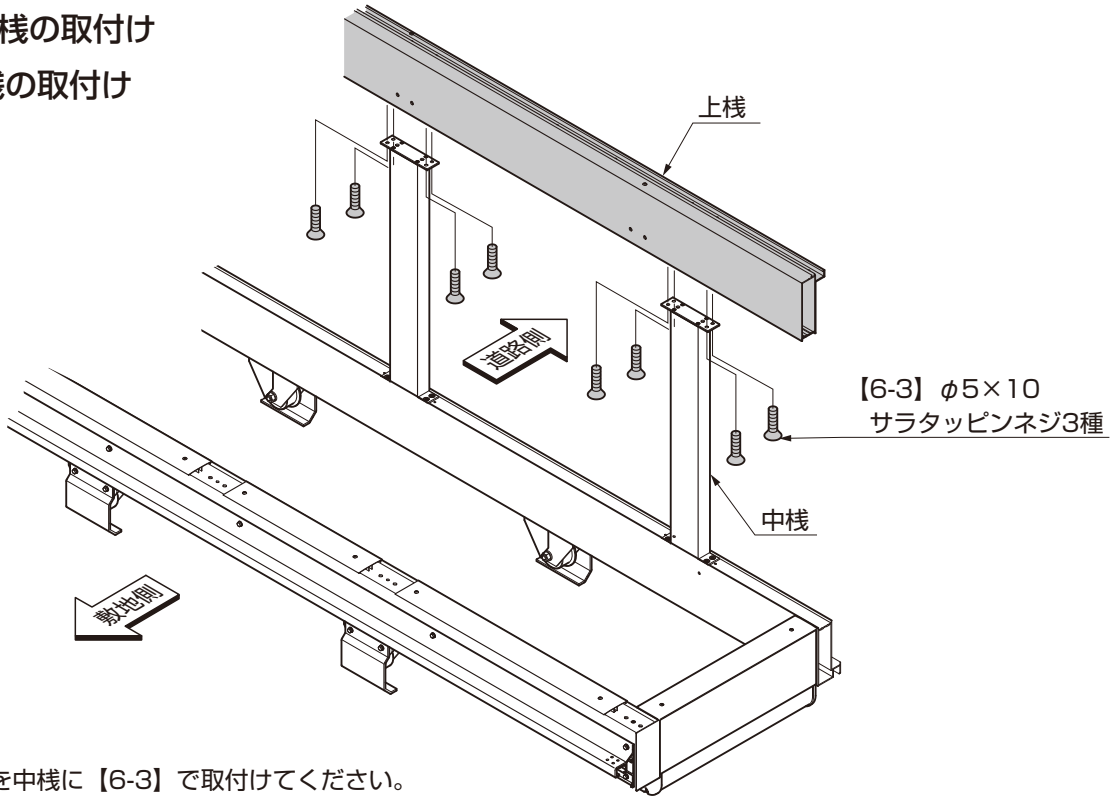


①中桟を【6-3】で取付けてください。

4.（つづき）

4-2 上棧の取付け

（1）上棧の取付け



①上棧を中棧に【6-3】で取付けてください。

（2）上棧の連結　※連結の場合の作業です。

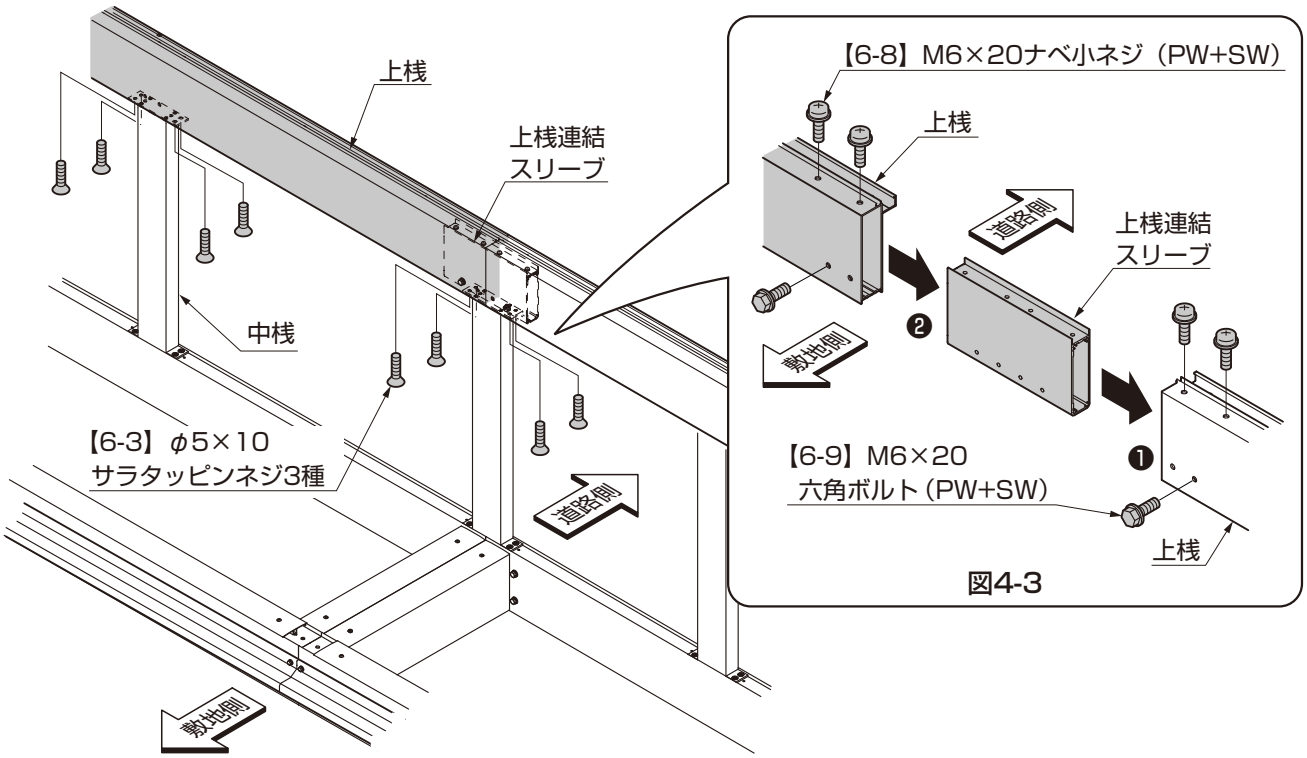


図4-3

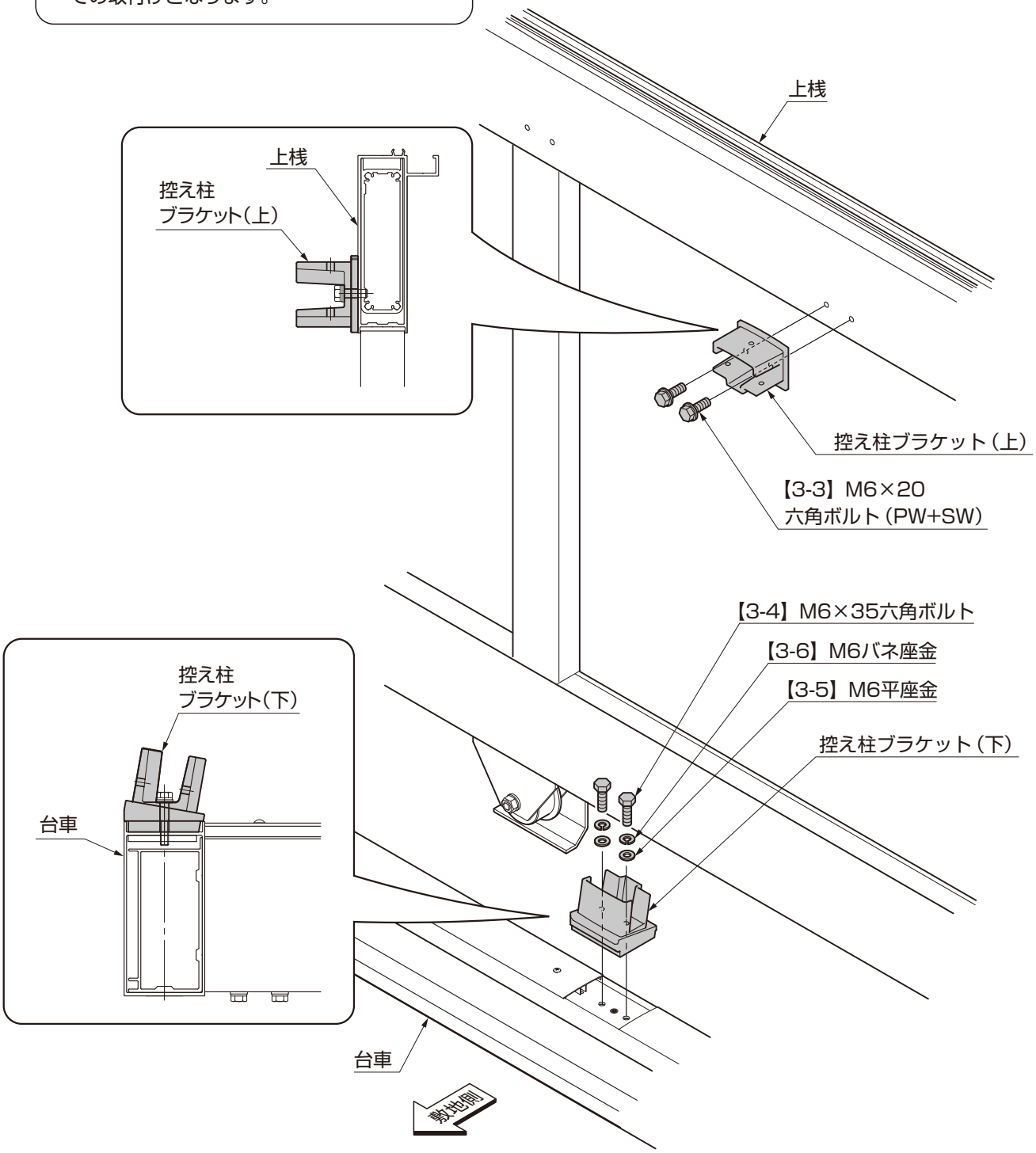
図4-4

①中棧に取付けた上棧に上棧連結スリーブを差込み、【6-8】、【6-9】で仮固定してください。（図4-3参照）
②もう片方の上棧を仮固定した上棧連結スリーブに差込み、【6-8】、【6-9】で取付けてください。（図4-3参照）
③①で仮固定した【6-8】、【6-9】を本締めしてください。（図4-3参照）
④取付けた上棧に中棧を【6-3】で取付けてください。（図4-4参照）

4-3 控え柱ブラケットの取付け

ポイント

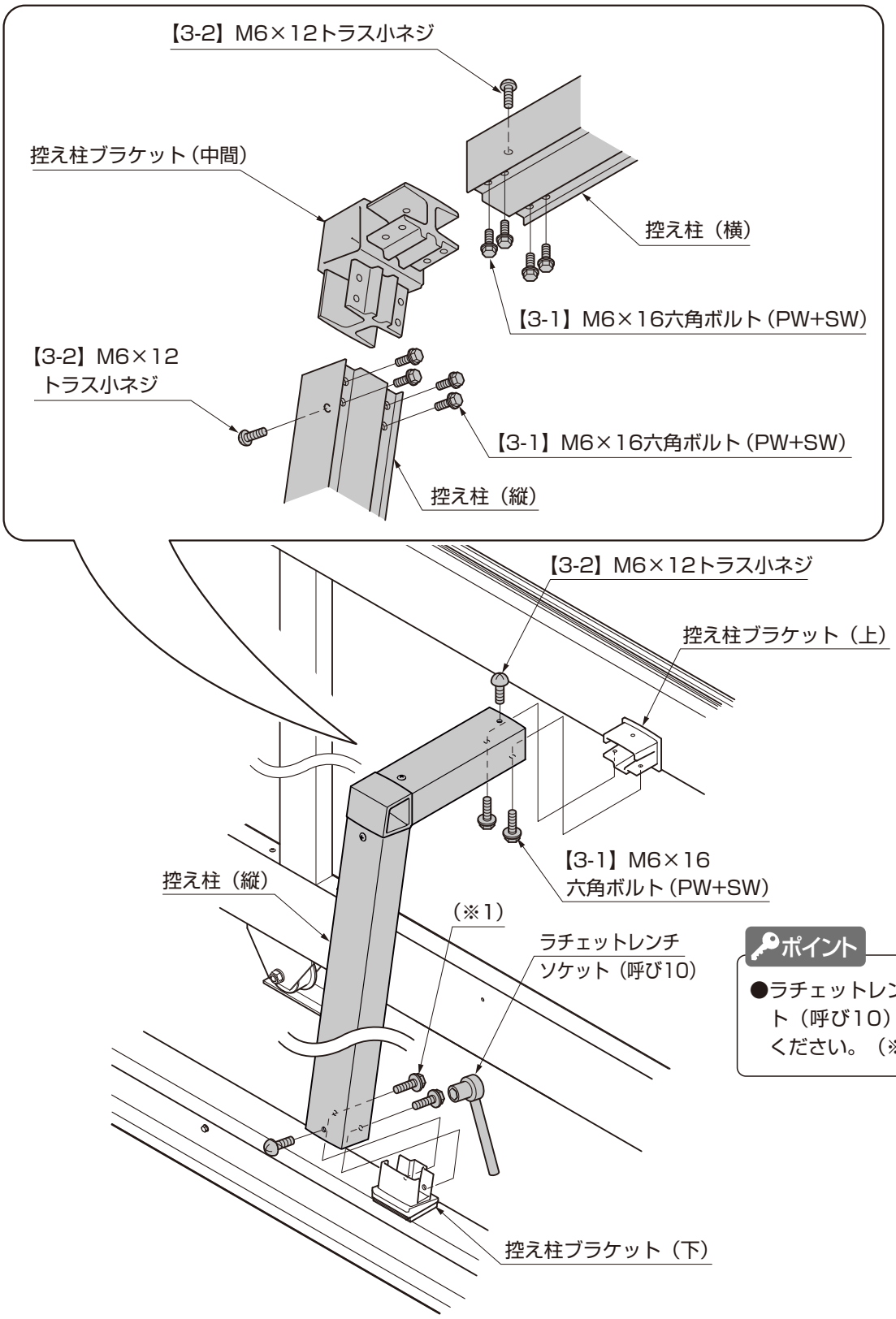
●単独・後部と戸当り框側の控え柱ブラケットは、後の行程（後框、戸当り框の取付け時）での取付けとなります。



①控え柱ブラケット（上）を上桟に【3-3】で取付けてください。
②控え柱ブラケット（下）を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。

4.（つづき）

4-4 控え柱の取付け



ポイント

●ラチェットレンチとソケット（呼び10）で取付けてください。（※1）

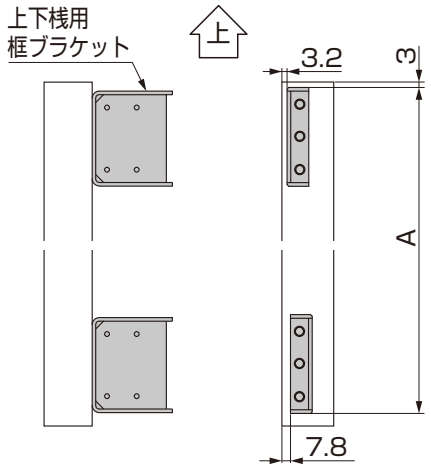
①控え柱ブラケット（中間）に控え柱（横）、控え柱（縦）を差込み、【3-1】、【3-2】で取付けてください。
②①を控え柱ブラケット（上）、控え柱ブラケット（下）に挿入し、【3-1】、【3-2】で取付けてください。

5. 框の取付け

5-1　後框の取付け　※単独・後部の場合の作業です。

ポイント

●取付け前に、上下桟用框ブラケットの位置が下図になるように調整してください。
●後框には上下があります。



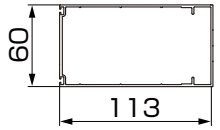
※図は右引き用を示します。

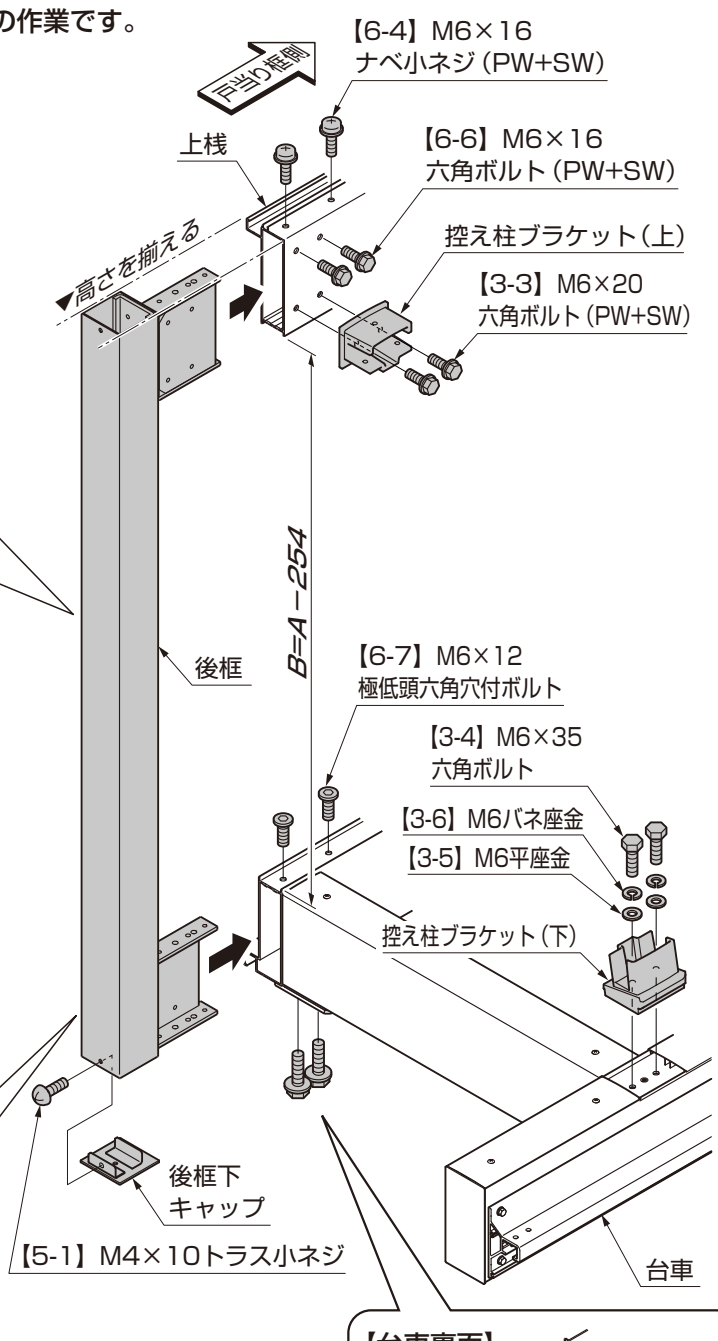
表5-1　A寸法

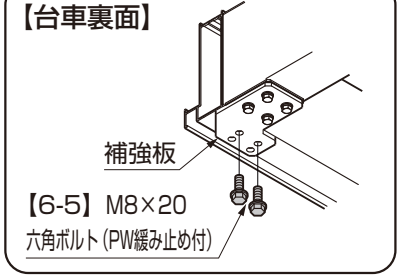
高さ	E1,E3	E2	E4,E6	E5
H12	−	−	1091	1091
H14	−	1091	1291	−
H15	1091	−	−	1391
H16	−	1291	1491	−
H18	1391	1491	1691	1691
H20	1591	1691	−	−

ポイント

●E5タイプの場合







①上桟と後框の高さを揃えて、B寸法を確認しながら、後框を上桟と台車に【6-4】、【6-5】、【6-6】、【6-7】で取付けてください。

補 足

●上桟側は側面のボルトから固定すると位置が出しやすいです。

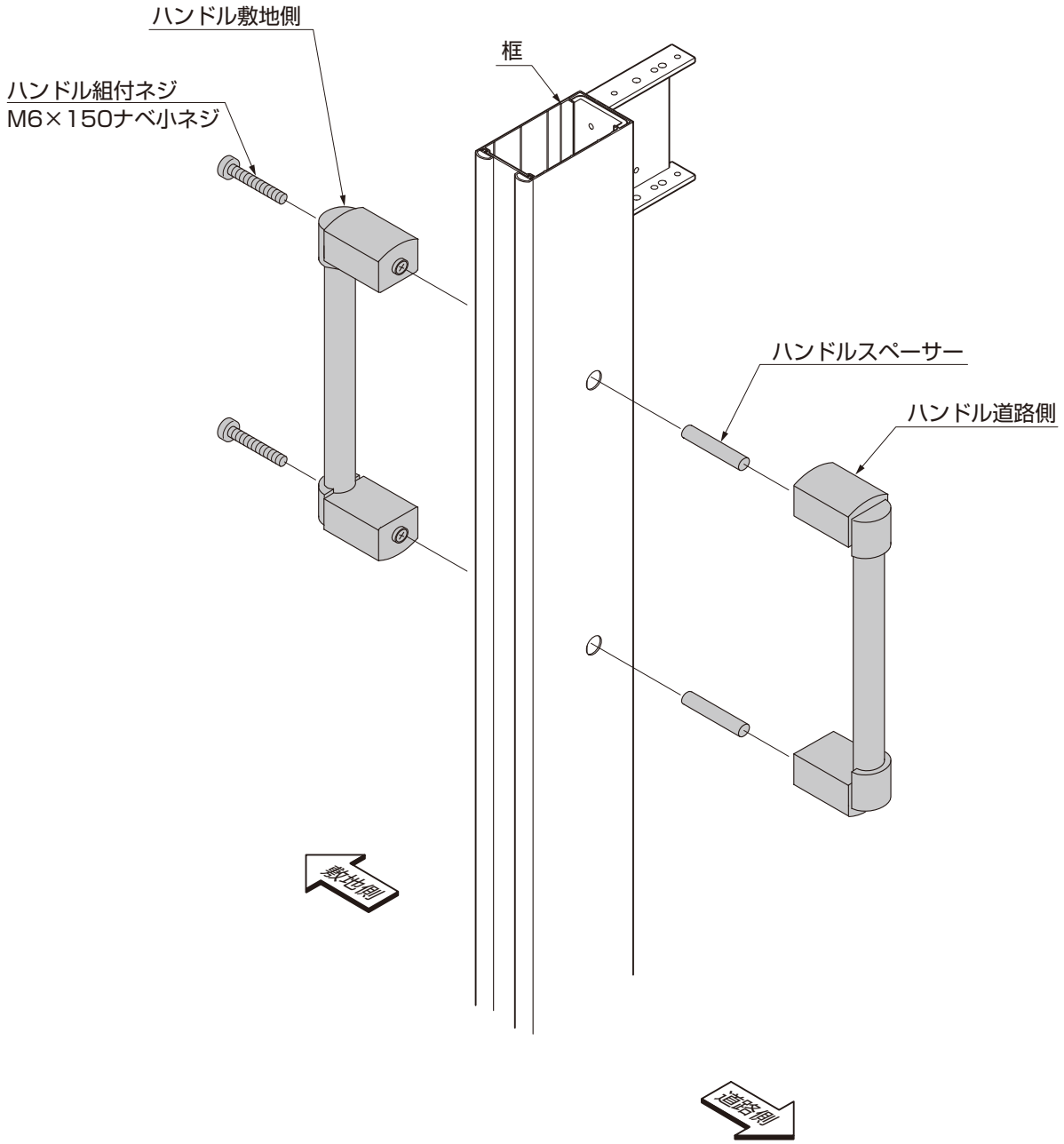
②後框下キャップを後框に【5-1】で取付けてください。
③控え柱ブラケット（上）を上桟に【3-3】で取付けてください。
④控え柱ブラケット（下）を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。
⑤控え柱を取付けてください。

ポイント

●控え柱の取付けは「4-4 控え柱の取付け」を参照してください。

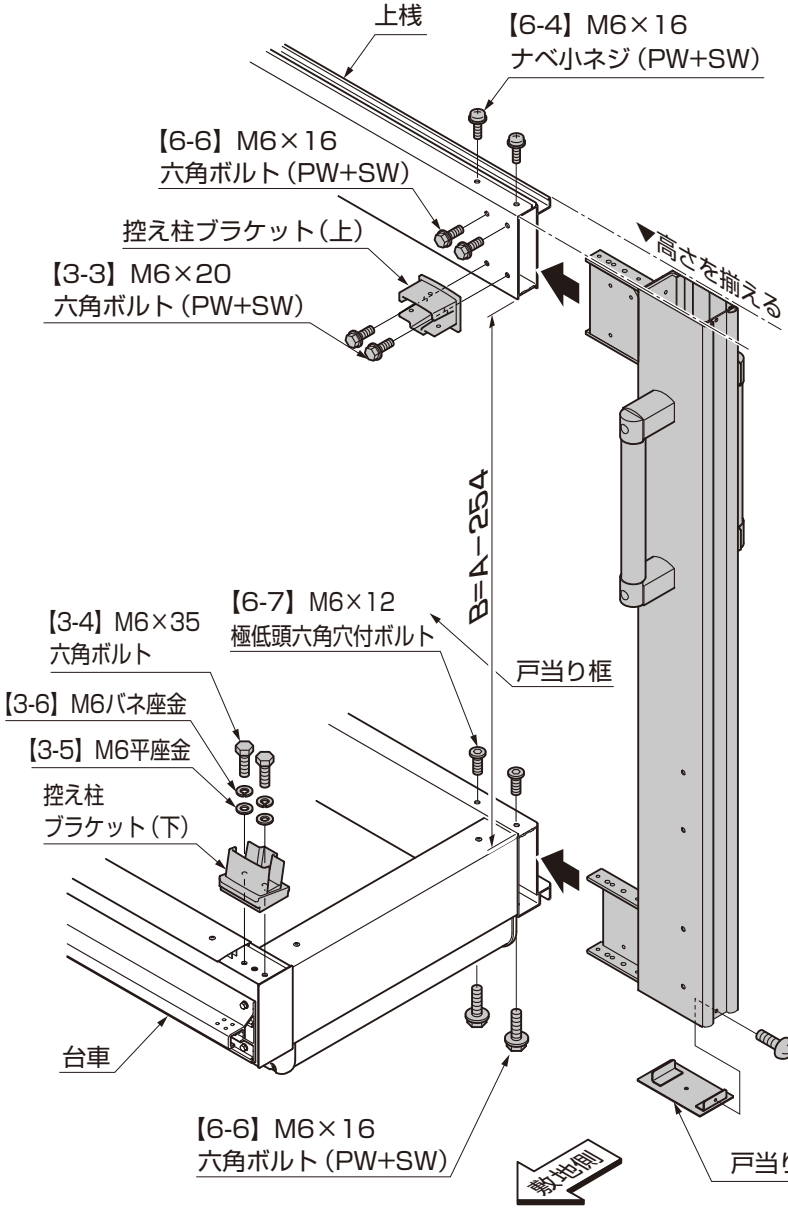
5.（つづき）

5-2　ハンドルの取付け



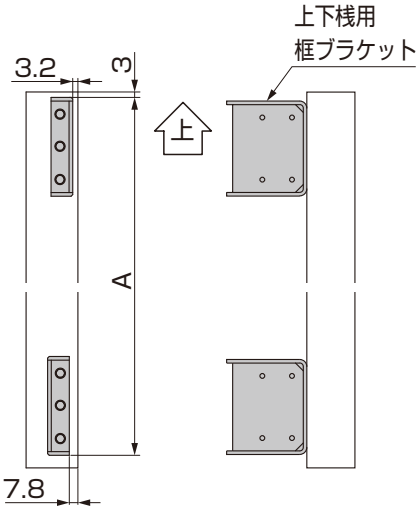
①仮組みしているハンドルセットの「ハンドル組付ネジ」を緩めて外してください。
②ハンドルセットを、ハンドル道路側とハンドル敷地側に分けてください。
③框にハンドル道路側とハンドル敷地側を「ハンドル組付ネジ」で取付けてください。その際、図のようにハンドルスペーサー間に通して取付けてください。

5-3 戸当り框の取付け ※単独・先頭の場合の作業です。
受け框の取付け ※両引きの場合の作業です。



ポイント

●取付け前に、上下桟用框ブラケットの位置が下図になるように調整してください。



※図は右引き用を示します。

表5-2 A寸法

高さ	E1,E3	E2	E4,E6	E5
H12	−	−	1091	1091
H14	−	1091	1291	−
H15	1091	−	−	1391
H16	−	1291	1491	−
H18	1391	1491	1691	1691
H20	1591	1691	−	−

①上桟と戸当り框の高さを揃えて、B寸法を確認しながら、戸当り框を上桟と台車に【6-4】、【6-6】、【6-7】で取付けてください。

補 足

●上桟側は側面のボルトから固定すると位置が出しやすいです。

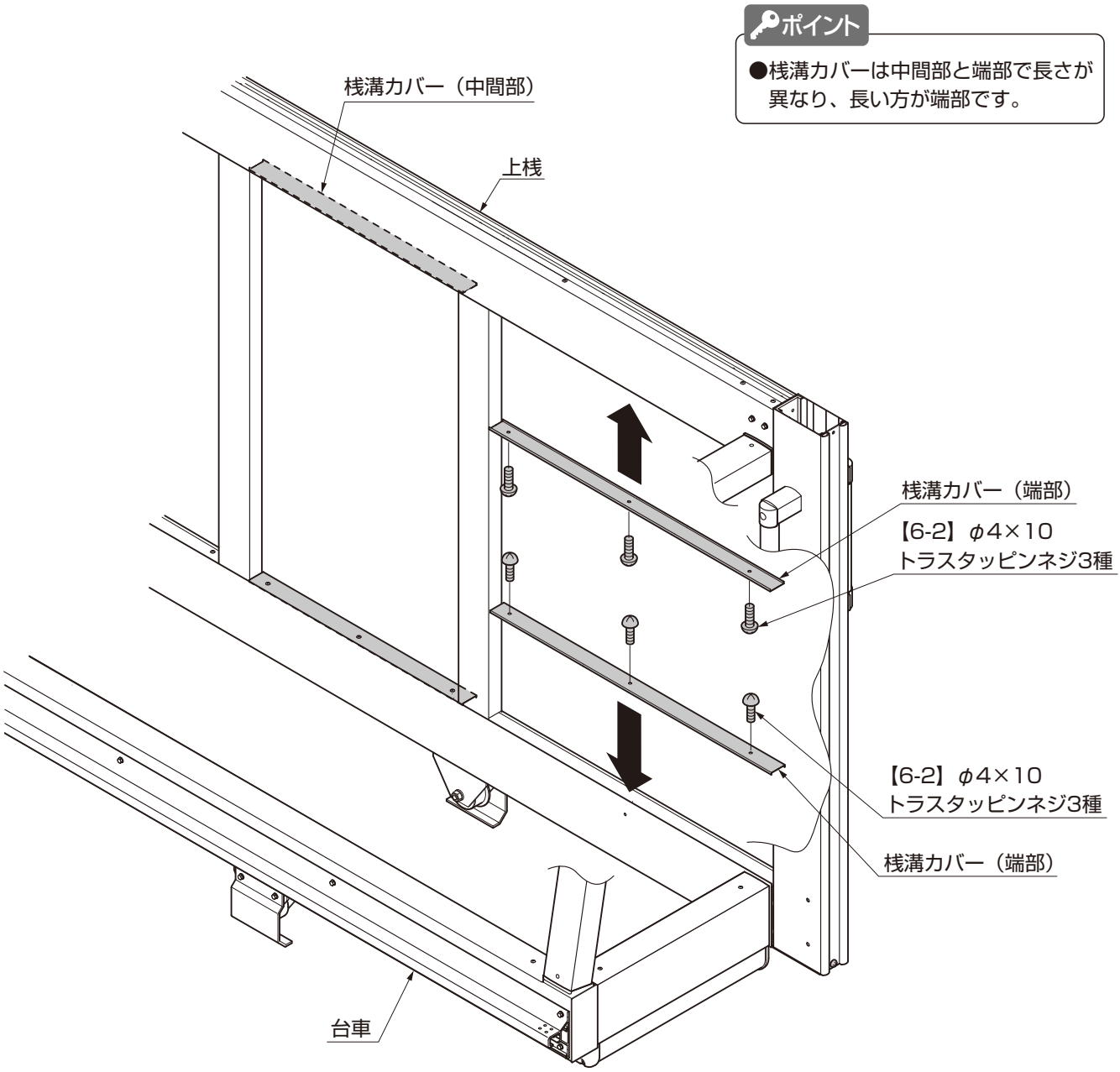
②戸当り框下キャップを戸当り框に【5-1】で取付けてください。
③控え柱ブラケット（上）を上桟に【3-3】で取付けてください。
④控え柱ブラケット（下）を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。
⑤控え柱を取付けてください。

ポイント

●控え柱の取付けは「4-4 控え柱の取付け」を参照してください。

5.（つづき）

5-4 桟溝カバーの取付け



①桟溝カバーを上桟・台車の溝にはめ込み、【6-2】で取付けてください。

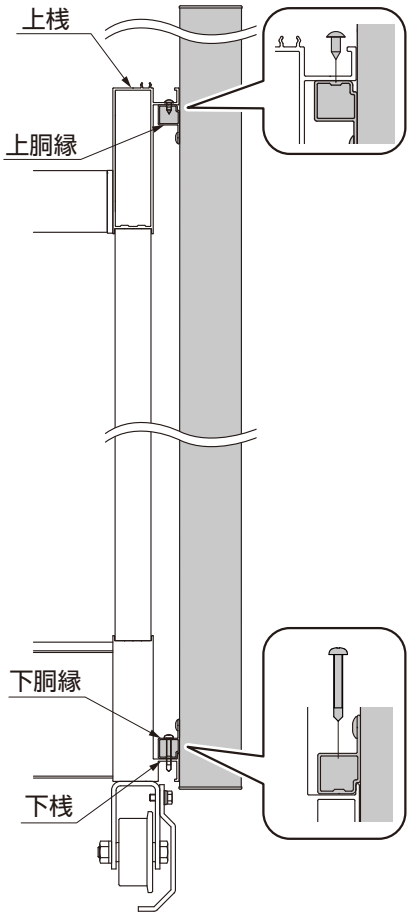
4　パネルの施工

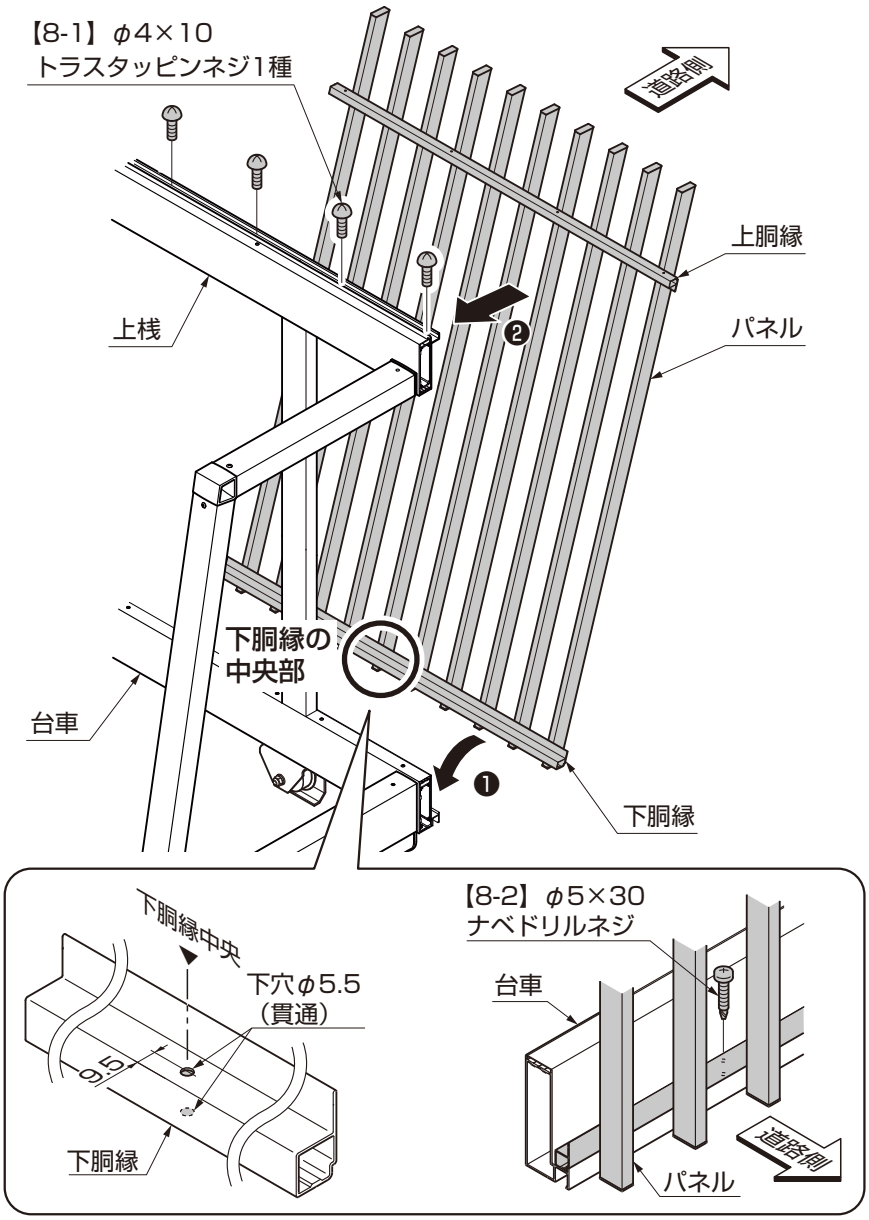
1. E1・E2・E3パネルの場合

ポイント

●E2タイプの場合、パネルに左右があります。

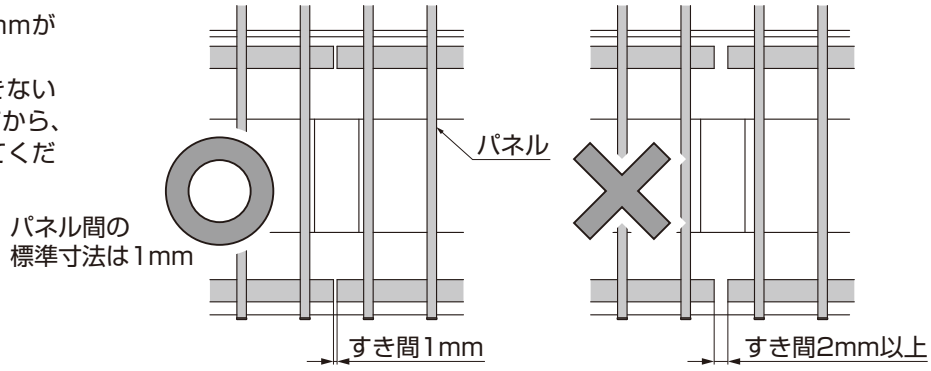
右用　31.5　　左用　31.5





ポイント

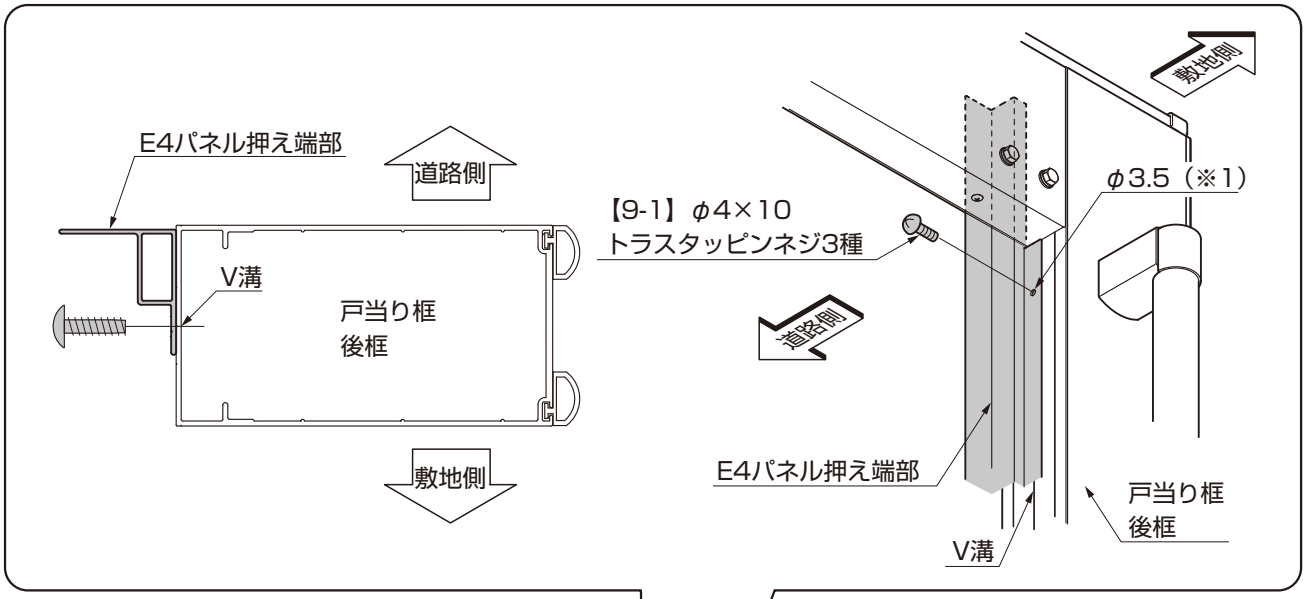
●パネル間のすき間は1mmが標準寸法です。
2mm以上すき間ができないようにパネルを調整してから、パネルを台車に取付けてください。

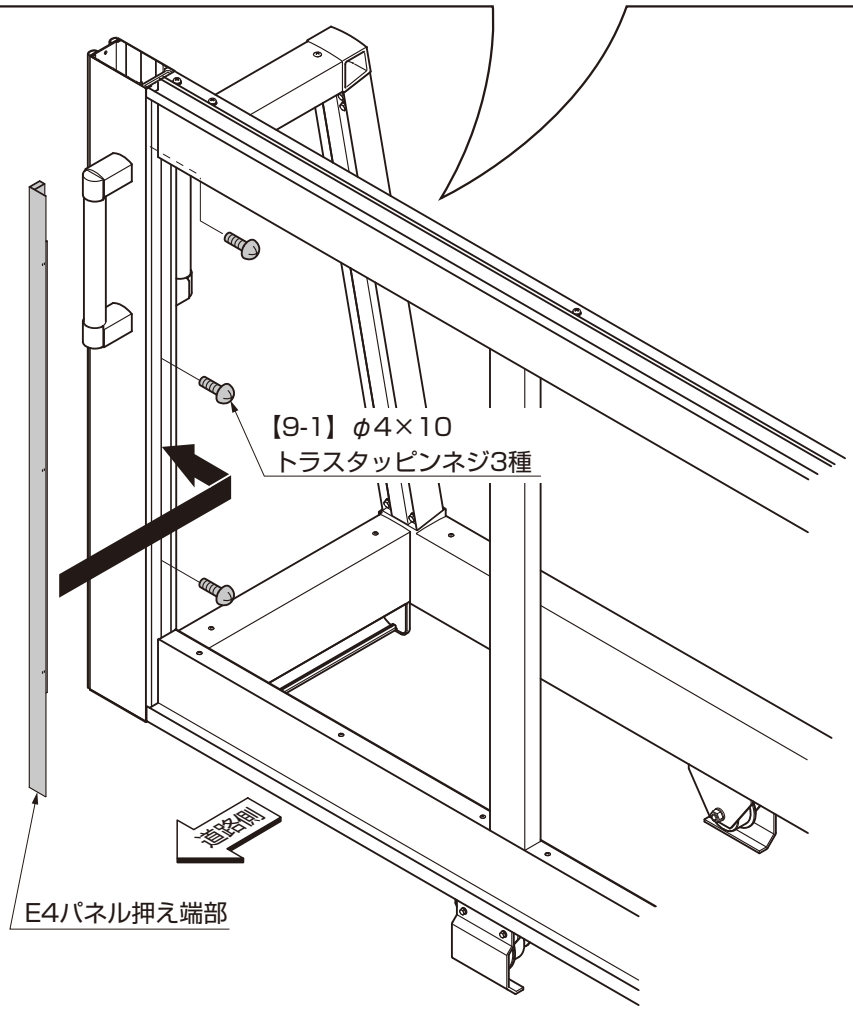


①パネルの下胴縁の中央にφ5.5の貫通穴をあけてください。
②下胴縁を台車にのせてから、パネルを上桟に【8-1】で取付けてください。
③①であけた穴に【8-2】でパネルを台車に取付けてください。

2. E4パネルの場合

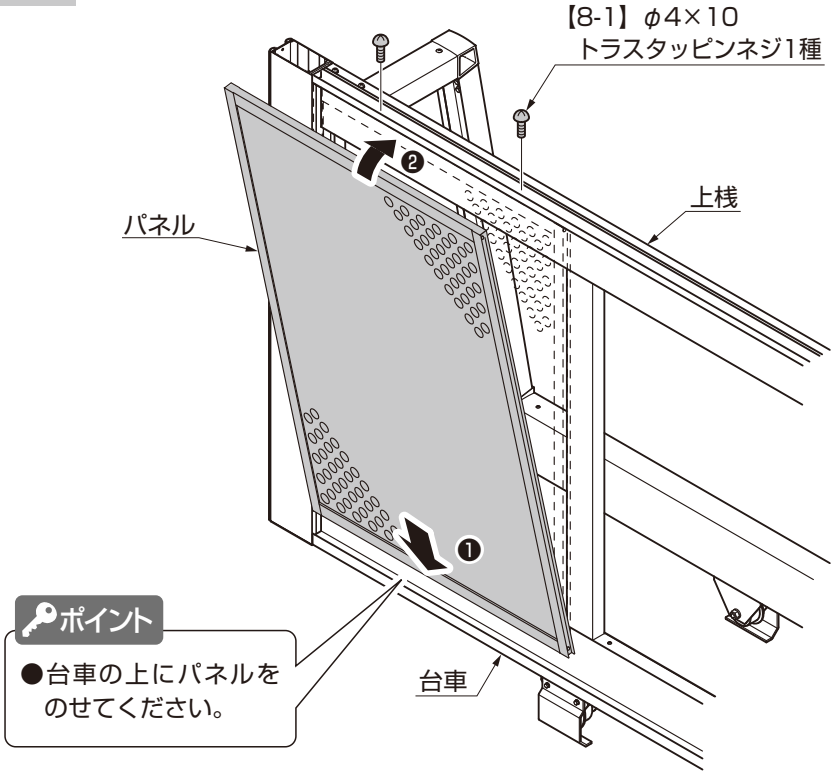
2-1　E4パネル押え端部の取付け





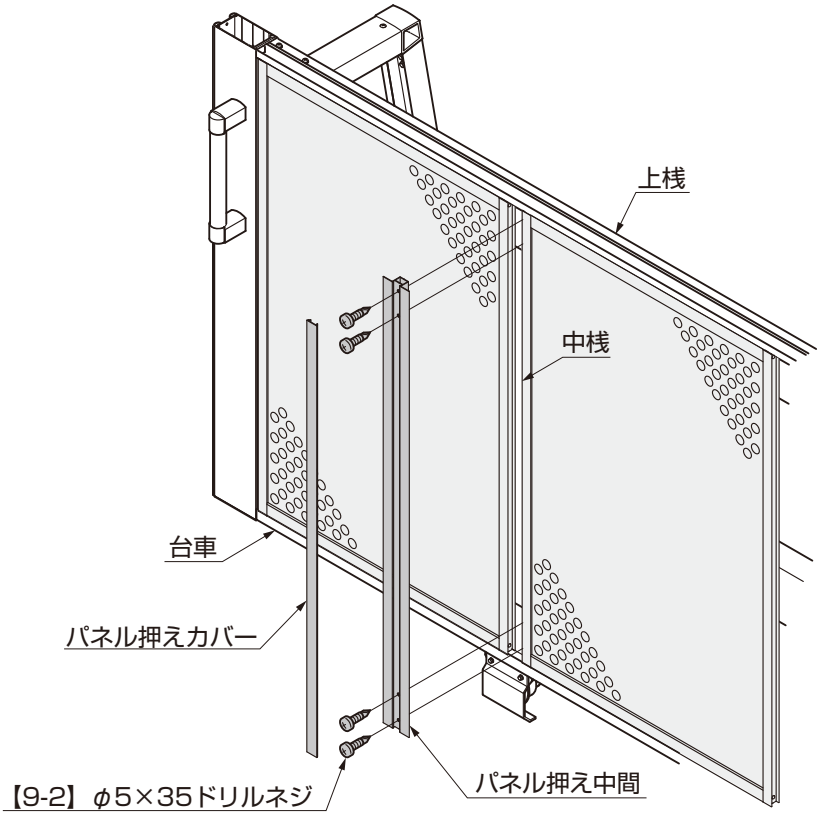
①E4パネル押え端部を框と上桟に押しあてて、E4パネル押え端部の穴をガイドにして、戸当り框、後框にφ3.5の穴をあけてください。（※1）
②E4パネル押え端部を戸当り框、後框に【9-1】で取付けてください。

2-2 パネルの取付け



①パネル下部を台車にのせてから、パネルを上桟に【8-1】で取付けてください。

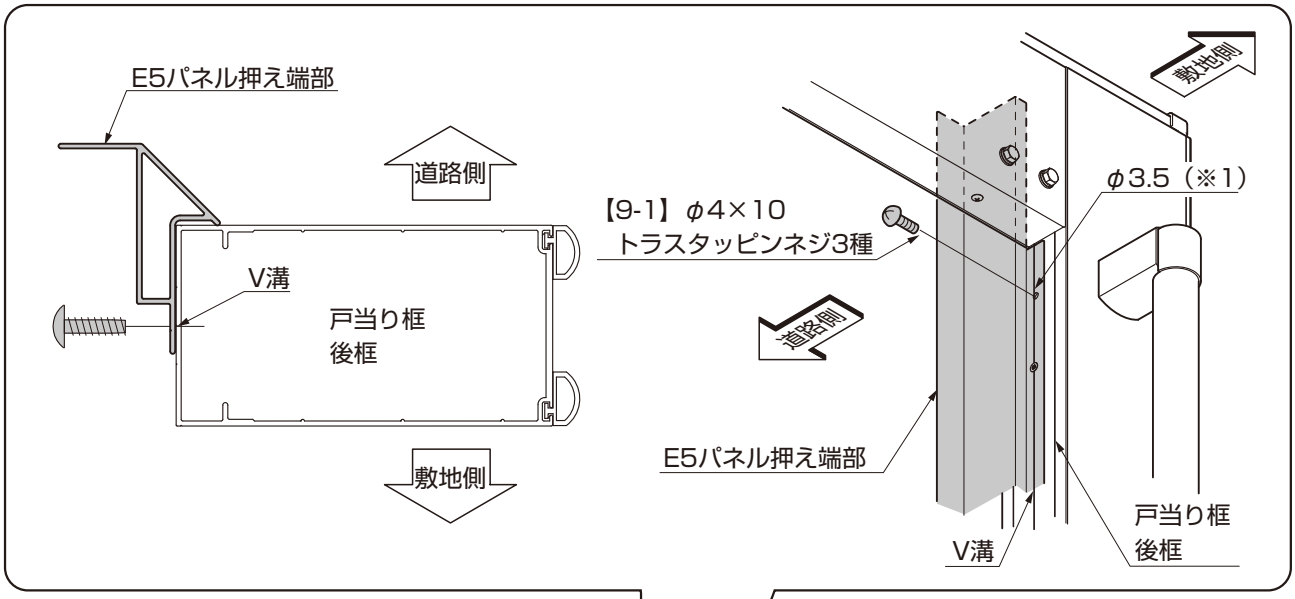
2-3 パネル押え中間の取付け

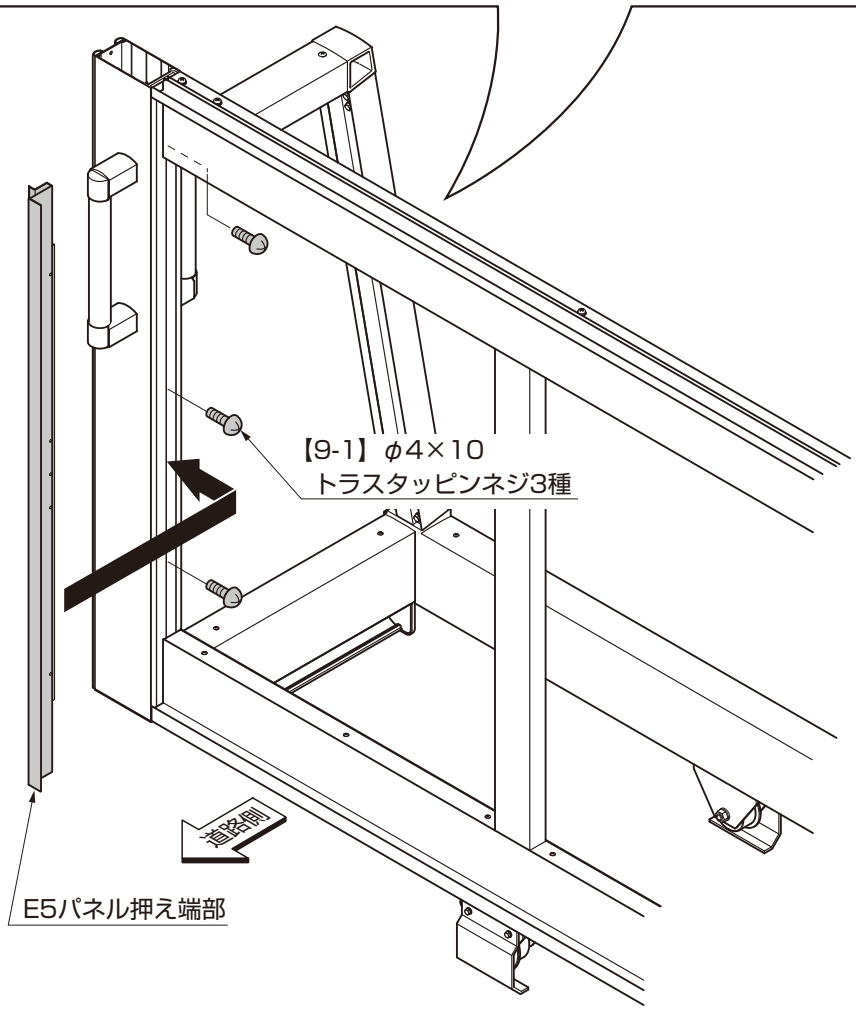


①上桟と台車にパネル押え中間を【9-2】で取付けてください。
②パネル押えカバーをパネル押え中間にはめ込んでください。

3. E5パネルの場合

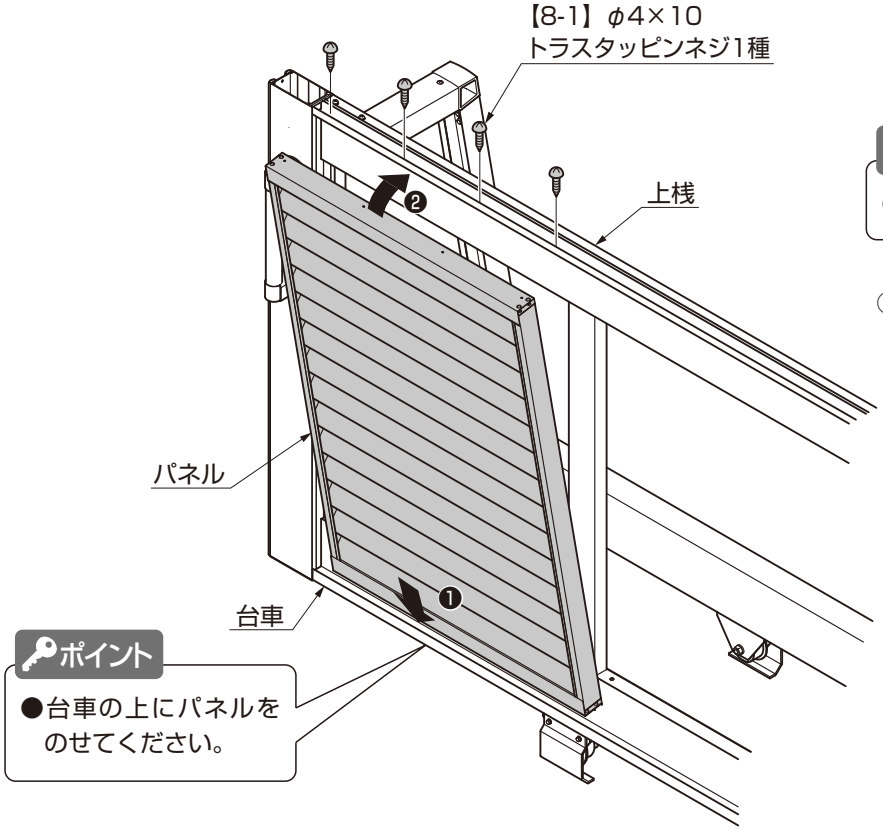
3-1　E5パネル押え端部の取付け





①E5パネル押え端部を框と上桟に押しあてて、E5パネル押え端部の穴をガイドにして、戸当り框、後框にφ3.5の穴をあけてください。（※1）
②E5パネル押え端部を戸当り框、後框に【9-1】で取付けてください。

3-2 パネルの取付け



ポイント

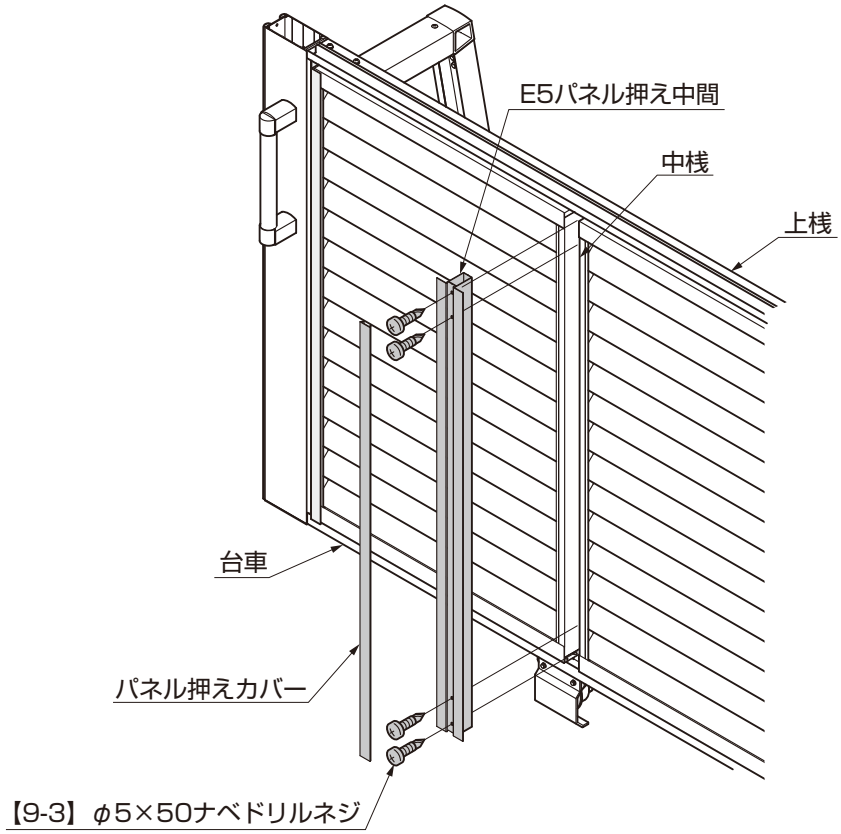
●パネルは端部から取付けてください。

①パネル下部を台車にのせてから、パネルを上桟に【8-1】で取付けてください。

ポイント

●台車の上にパネルをのせてください。

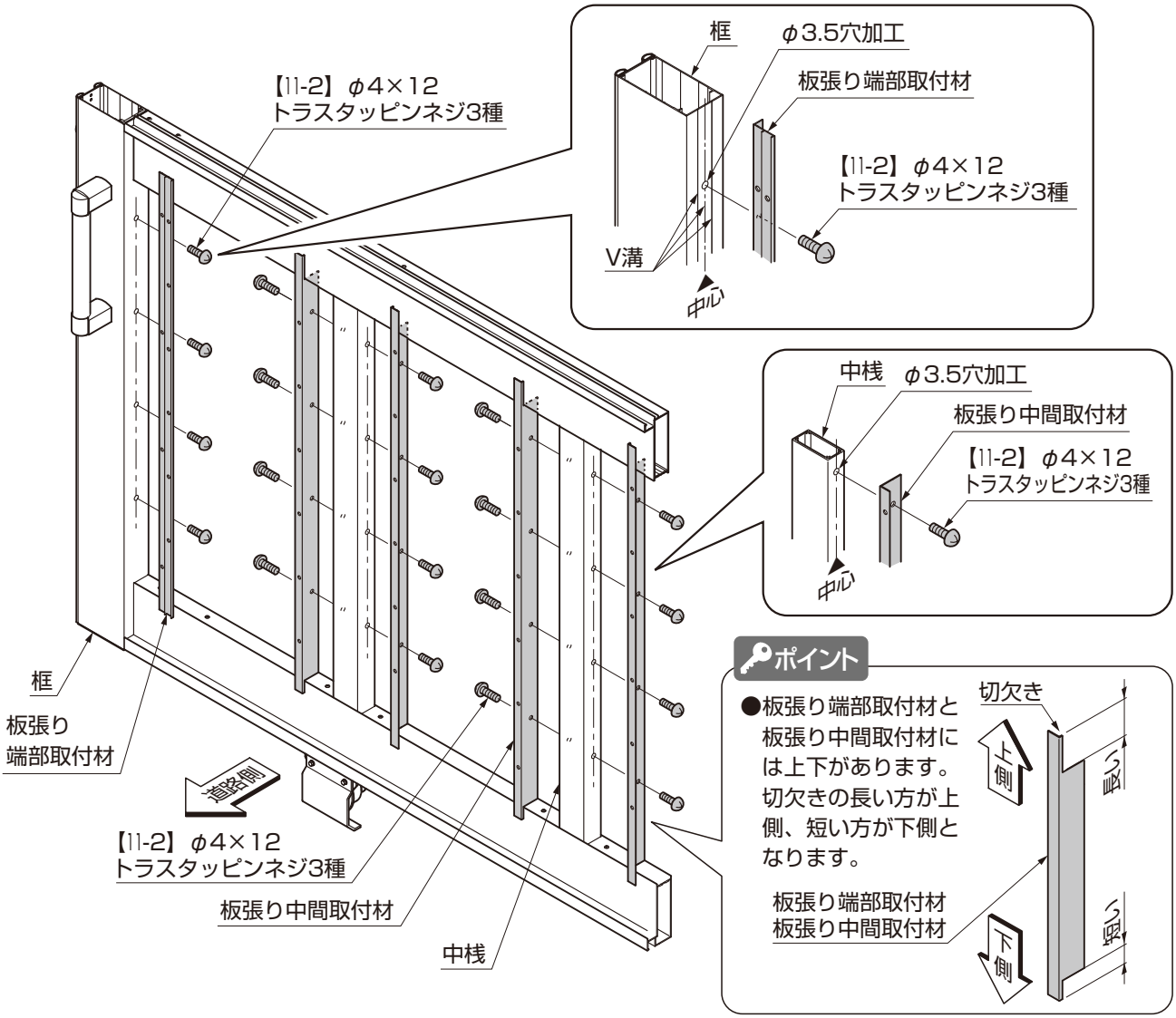
3-3 E5パネル押え中間の取付け



①上桟と台車にE5パネル押え中間を【9-3】で取付けてください。
②パネル押えカバーをE5パネル押え中間にはめ込んでください。

4. E6パネルの場合

4-1 板張り端部取付材、板張り中間取付材の取付け



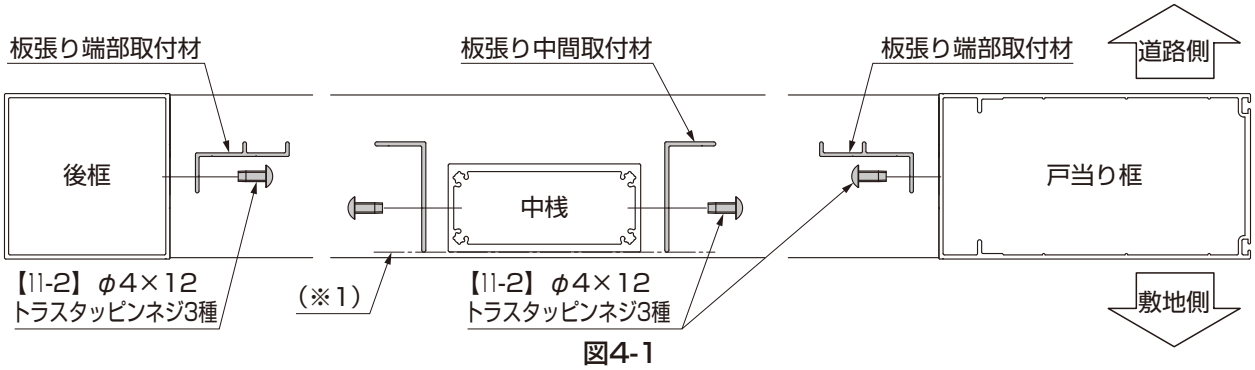


図4-1

①板張り中間取付材を中桟にあてがい、中桟の中心にφ3.5の穴加工をしてください。

補 足

●板張り中間取付材の位置は中桟の敷地側にそろいます。（※1）

②板張り中間取付材を①の加工穴に【11-2】で取付けてください。
③板張り端部取付材を框にあてがい、框の中央のV溝にφ3.5の穴加工をしてください。
④板張り端部取付材を③の加工穴に【11-2】で取付けてください。

4-2　意匠板の加工（敷地側から見た図）

ポイント

●意匠板は部位により加工が異なります。

意匠板（最上部）
意匠板（中間部）
⋮
意匠板（中間部）
意匠板（最下部）

表4-1

サイズ	n
W30	2
W40	3
W50	4
W60	5

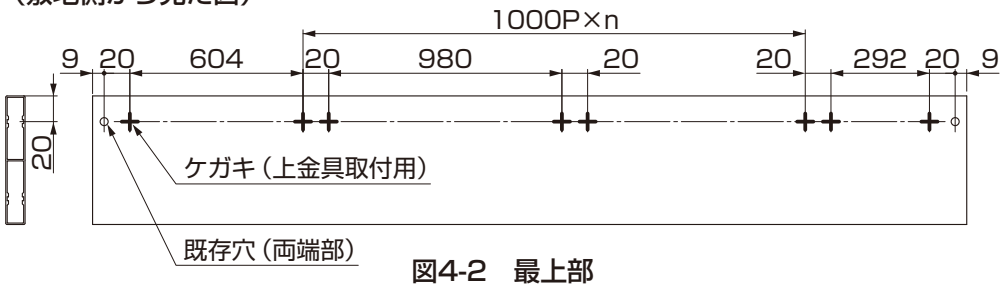


図4-2　最上部

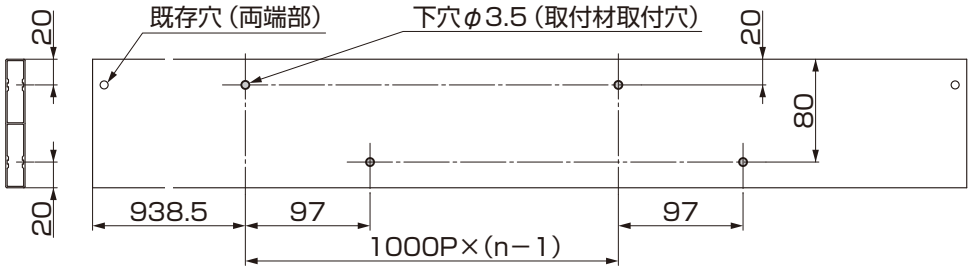


図4-3　中間部

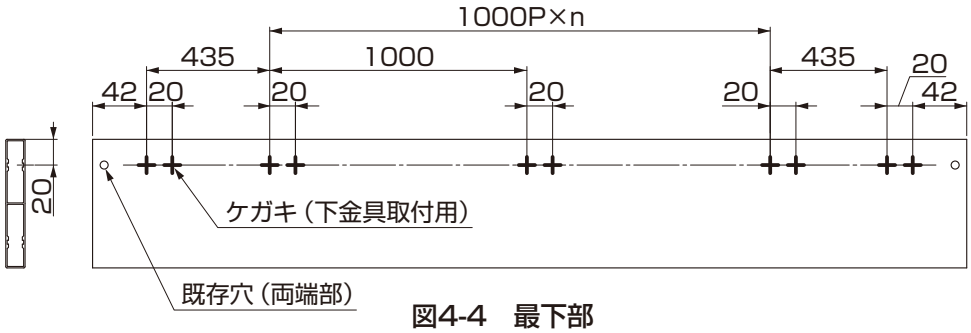


図4-4　最下部

①最上部、中間部、最下部の意匠板を加工してください。（図4-2、図4-3、図4-4参照）

4-3　意匠板の組立て

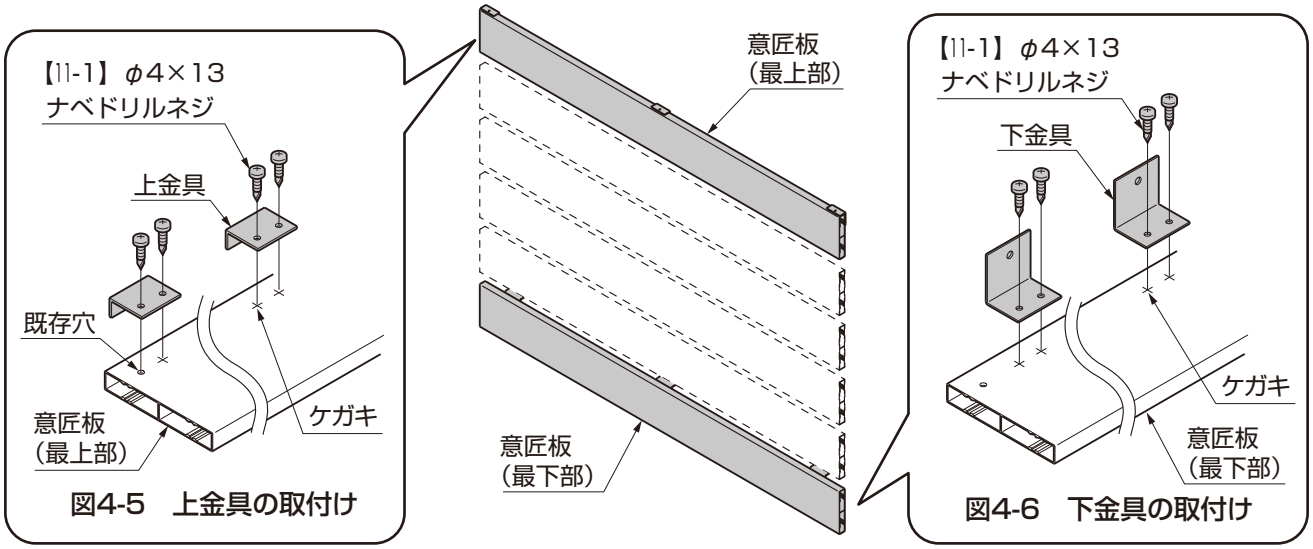
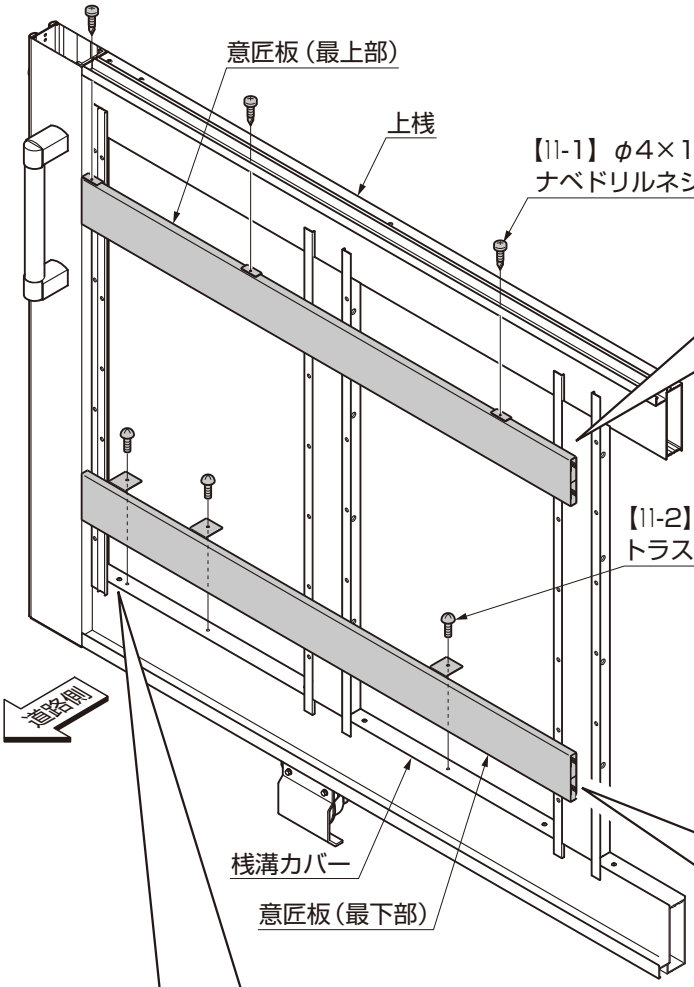


図4-5　上金具の取付け

図4-6　下金具の取付け

①上金具を最上部の意匠板に【11-1】で取付けてください。（図4-5参照）
②下金具を最下部の意匠板に【11-1】で取付けてください。（図4-6参照）

4-4　意匠板（最上部、最下部）の取付け



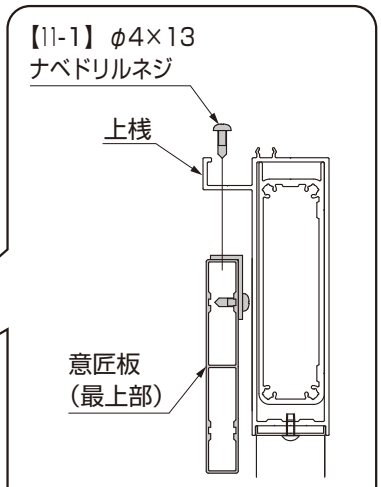


図4-8
意匠板（最上部）の取付け

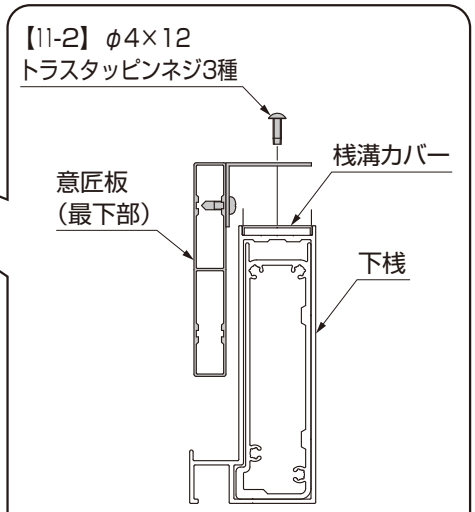


図4-9
意匠板（最下部）の取付け

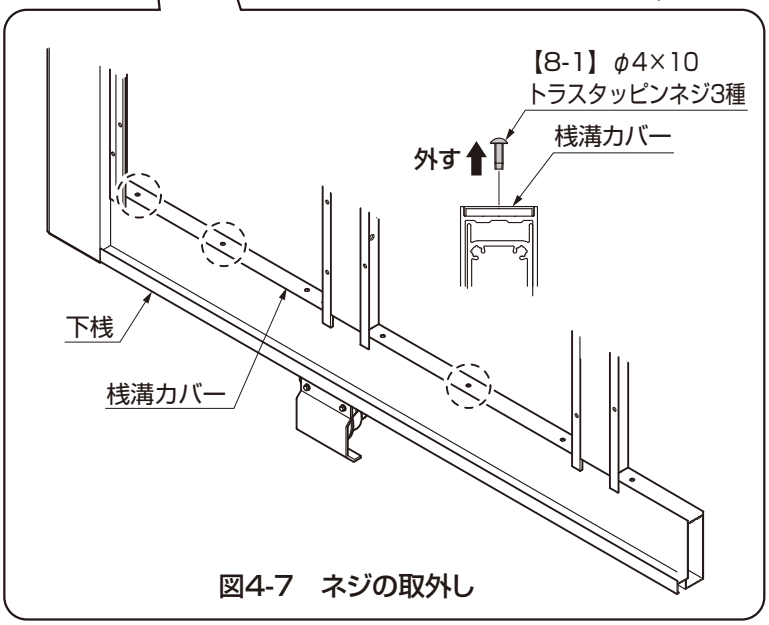
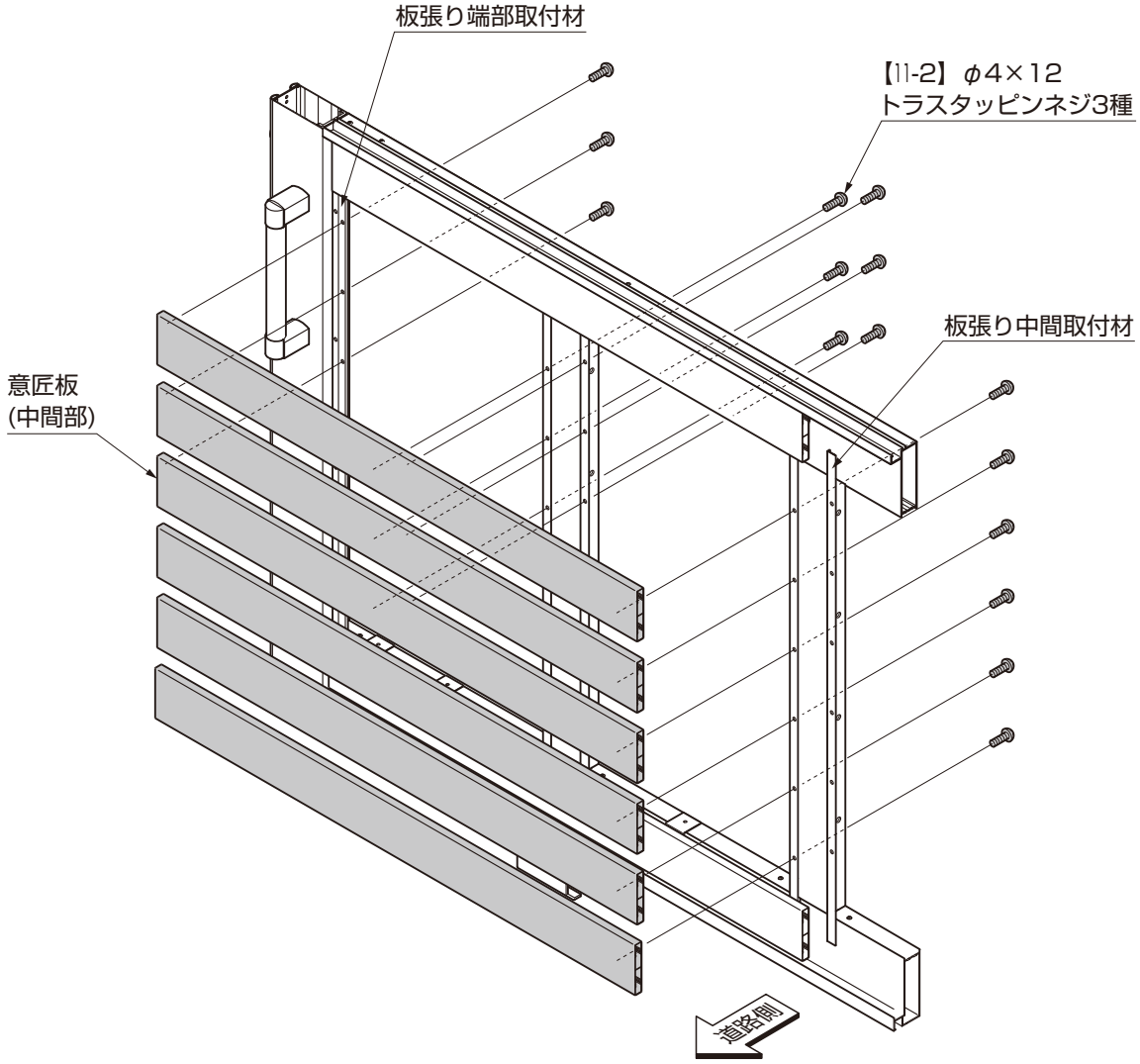


図4-7　ネジの取外し

①下桟の溝桟カバー両端部及び中央に付いている【8-1】を外してください。（図4-7参照）
②最上部の意匠板を上桟に【11-1】で取付けてください。（図4-8参照）
③最下部の意匠板を桟溝カバーに【11-2】で取付けてください。（図4-9参照）

4-5　意匠板（中間部）の取付け



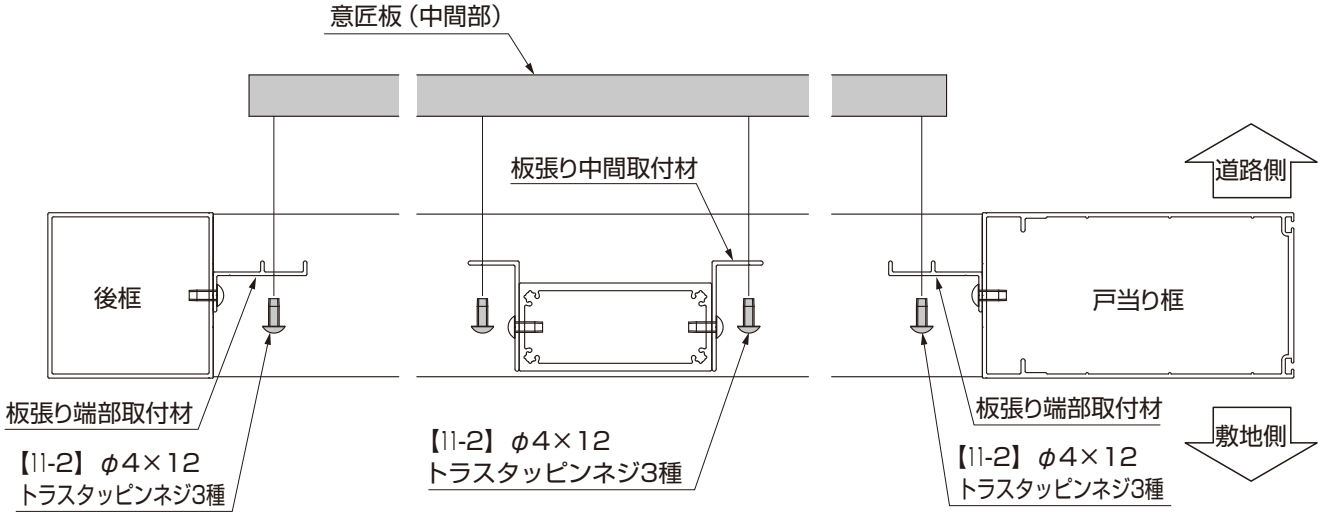
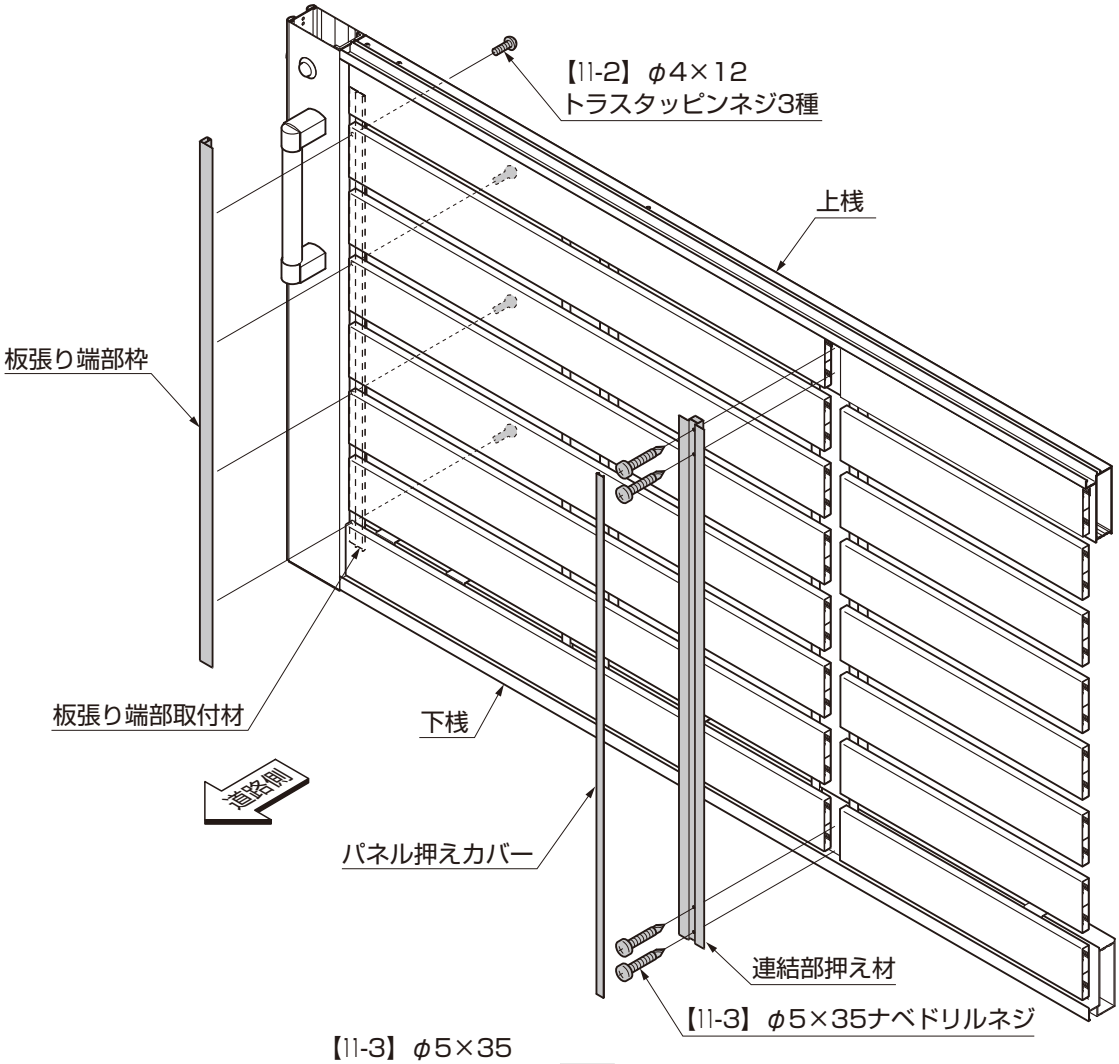


図4-10

①中間部の意匠板を板張り端部取付材と板張り中間取付材に【11-2】で取付けてください。

4-6 板張り端部枠、連結部押え材の取付け ※連結部はW70以上の場合の作業です。



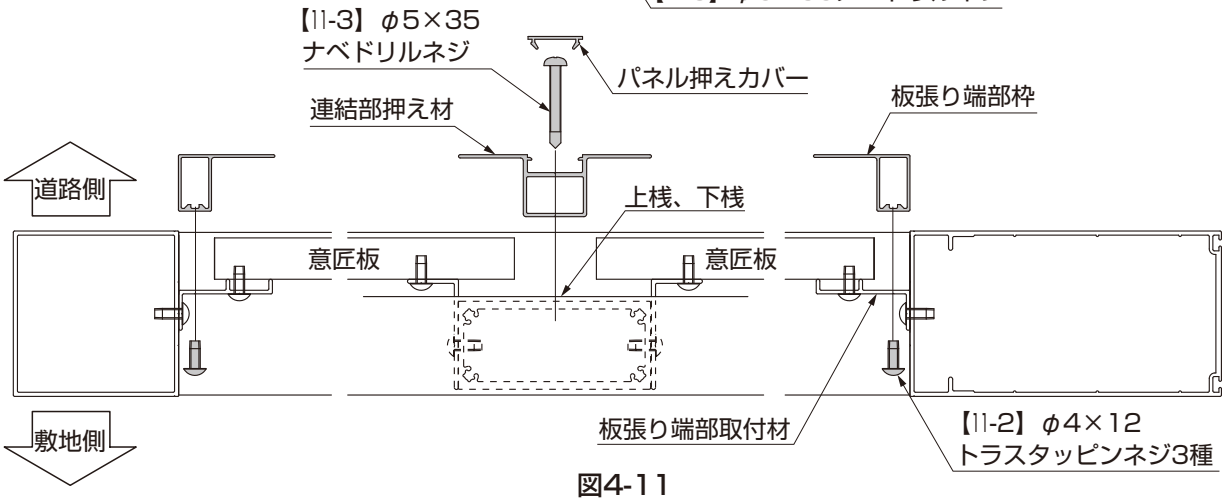


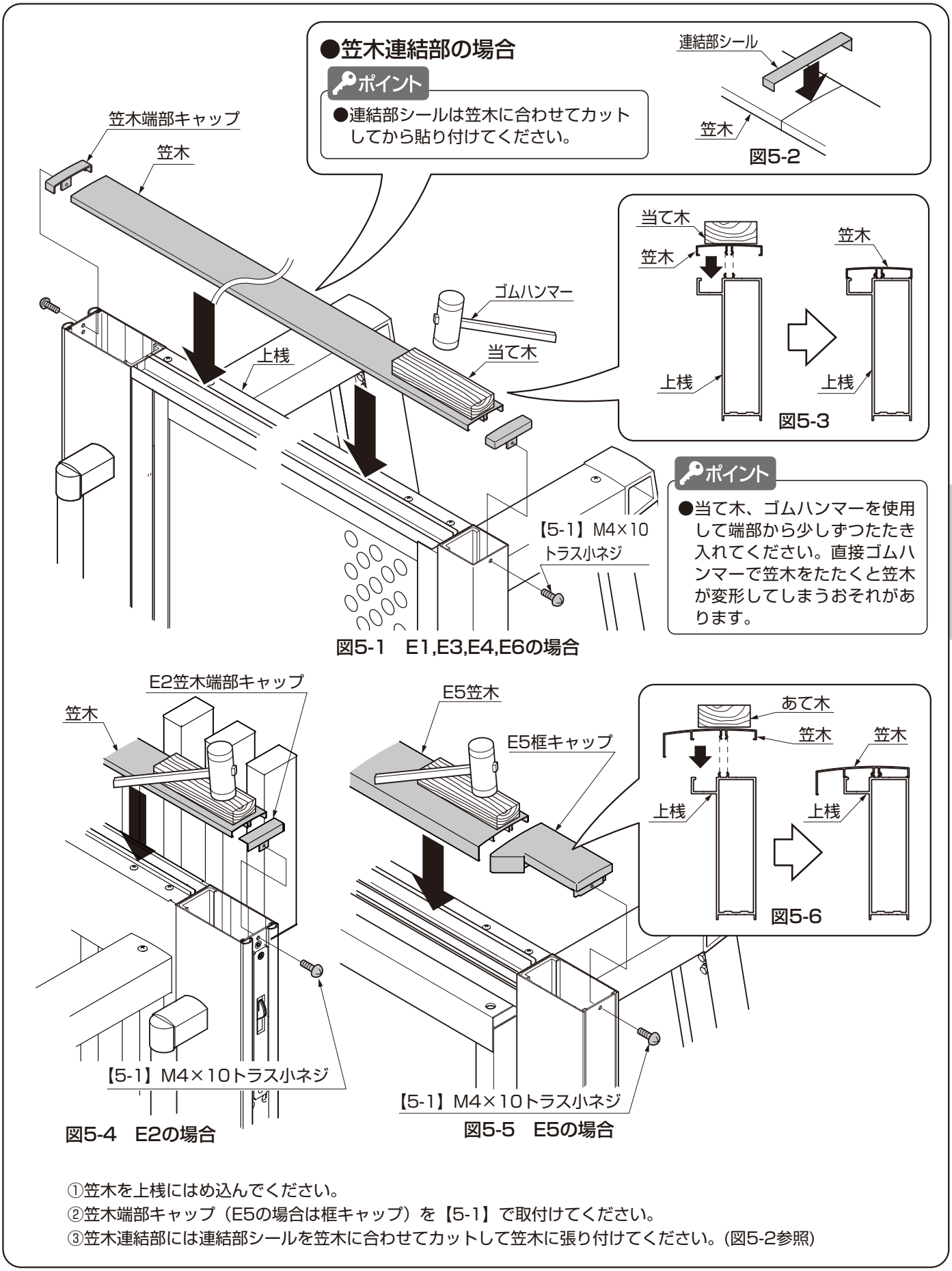
図4-11

①板張り端部枠を板張り端部取付材に【11-2】で取付けてください。
②意匠板と意匠板のつなぎ目に連結部押え材を差込み【11-3】で取付けてください。
③連結部押え材の溝にパネル押えカバーをはめ込んでください。

補 足

●板張り端部枠、連結部押え材がはまらない場合は意匠板の固定ねじをゆるめて調整してください。

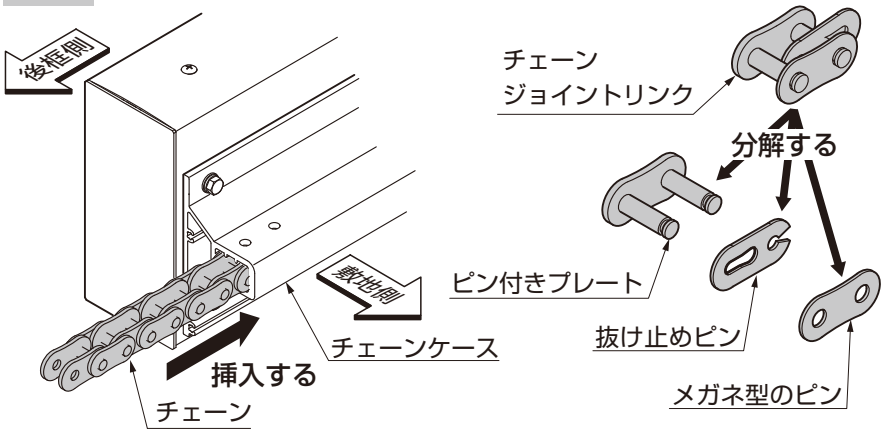
5. 笠木の取付け



①笠木を上桟にはめ込んでください。
②笠木端部キャップ（E5の場合は框キャップ）を【5-1】で取付けてください。
③笠木連結部には連結部シールを笠木に合わせてカットして笠木に張り付けてください。(図5-2参照)

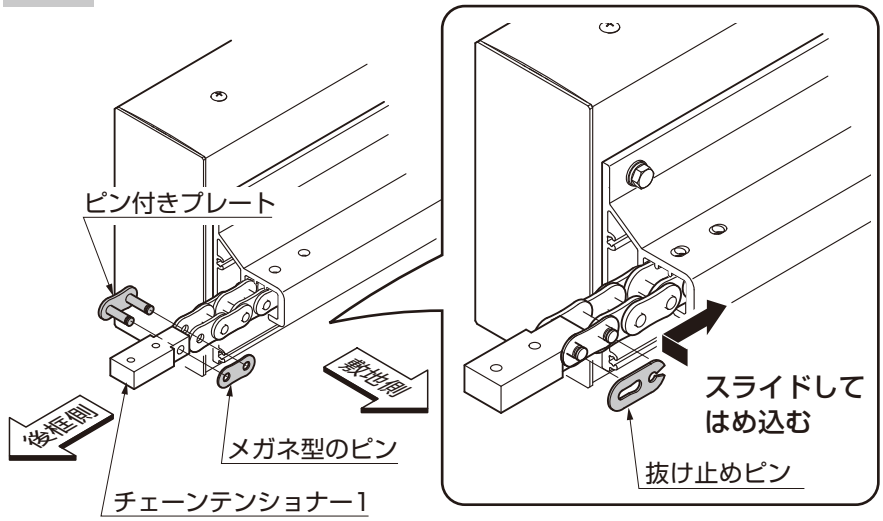
5　部品の取付けと調整

1-1　チェーンの取付け前準備



①チェーンをチェーンケースに挿入してください。
②チェーンジョイントリンクを3部品に分解してください。

1-2　チェーンテンショナー1の組立て



①後框側のチェーンの端部とチェーンテンショナー1にピン付きプレートのピンを挿入してください。
②抜き出てきたピンにメガネ型のピンをはめ込んでください。

ポイント
●カチッと音がなるまではめ込んでください。

③抜け止めピンをスライドしてはめ込んでください。

1-3　チェーンテンショナー2・3の組立て

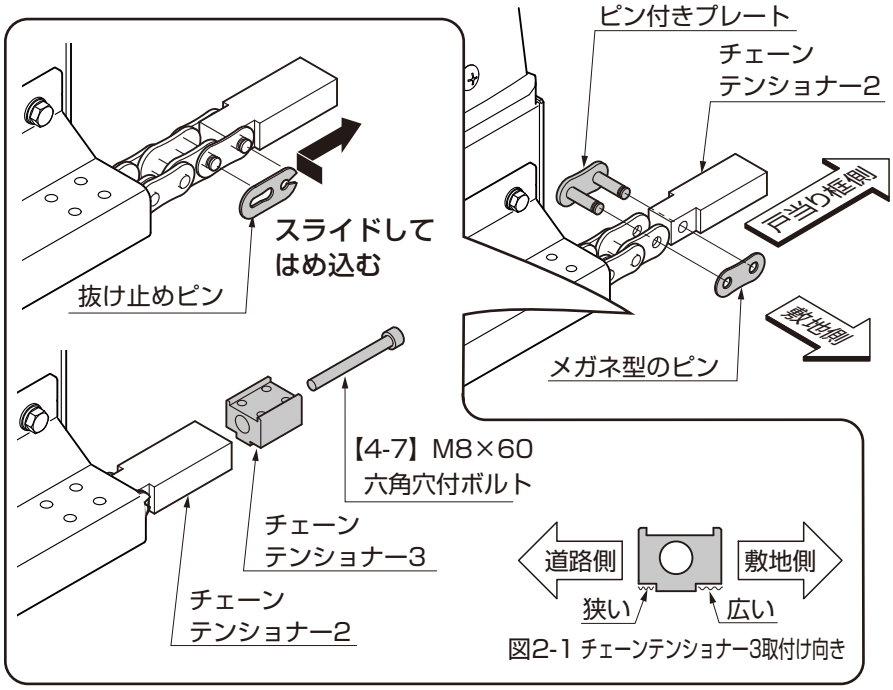


図2-1 チェーンテンショナー3取付け向き

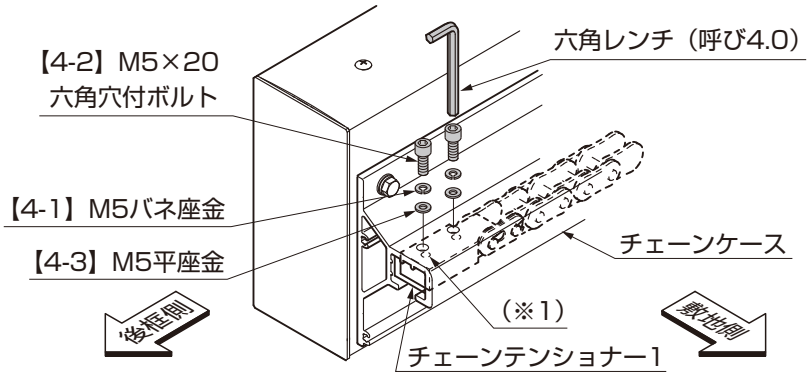
①戸当り框側のチェーンの端部とチェーンテンショナー2にピン付きプレートを挿入してください。
②ピンにメガネ型のピンをはめ込んでください。

ポイント
●カチッと音がなるまではめ込んでください。

③抜け止めピンをスライドしてはめ込んでください。
④チェーンテンショナー2と3を【4-7】で仮止めしてください。

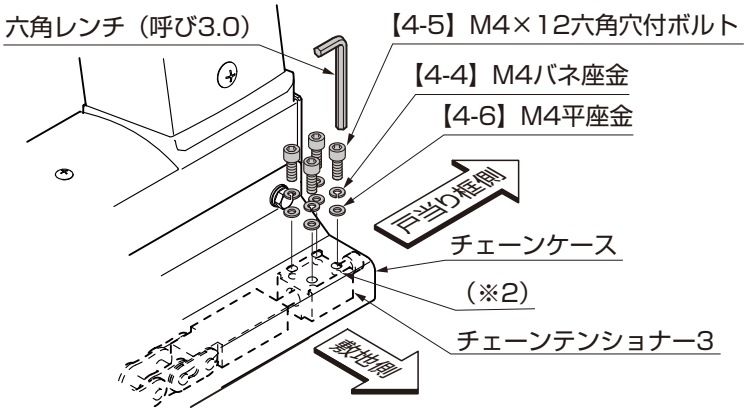
ポイント
●チェーンテンショナー3には取付け向きがあります。取付け向きを間違えると固定できなくなります。（図2-1参照）

1-4　チェーンテンショナー1の取付け



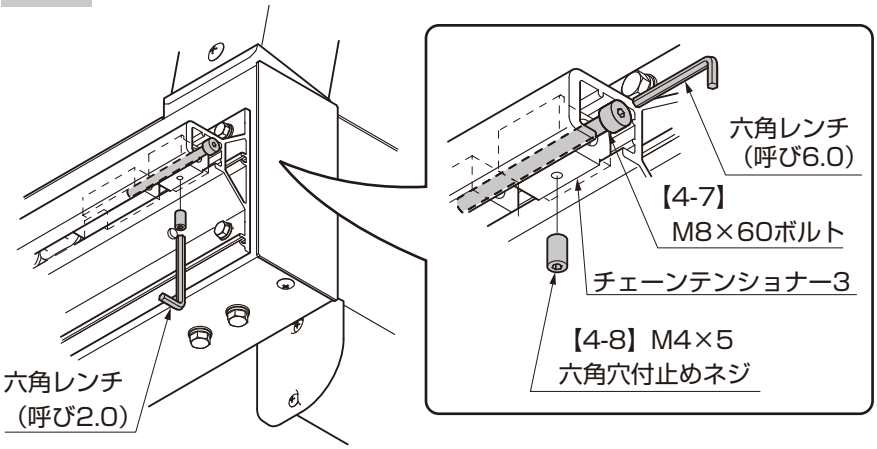
①チェーンテンショナー1のタップ（※1）とチェーンケースの穴位置を合わせて【4-1】【4-2】【4-3】で取付けてください。

1-5　チェーンテンショナー3の取付け



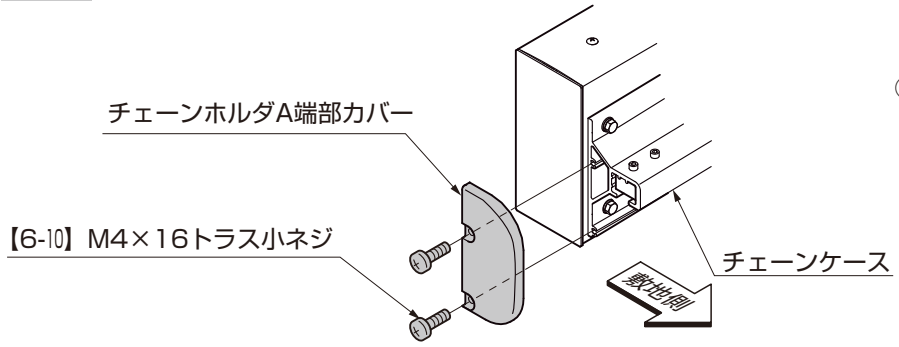
①チェーンテンショナー3のタップ（※2）とチェーンケースの穴位置を合わせて【4-4】【4-5】【4-6】で取付けてください。

1-6　チェーンテンショナーの調整



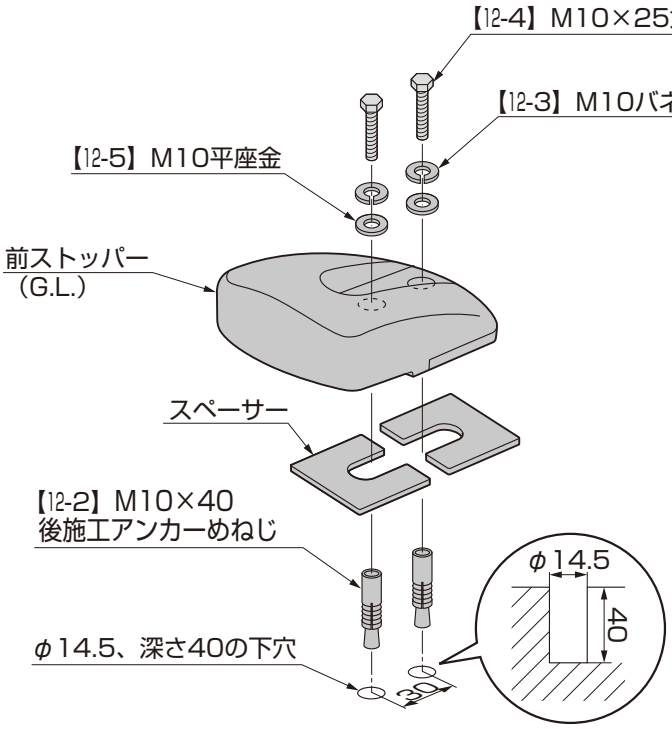
①チェーンテンショナー3に取付けてある【4-7】を締め込み、チェーンが張るように調整してください。
②チェーンが張ったら、チェーンテンショナー3に【4-8】を取付けてください。

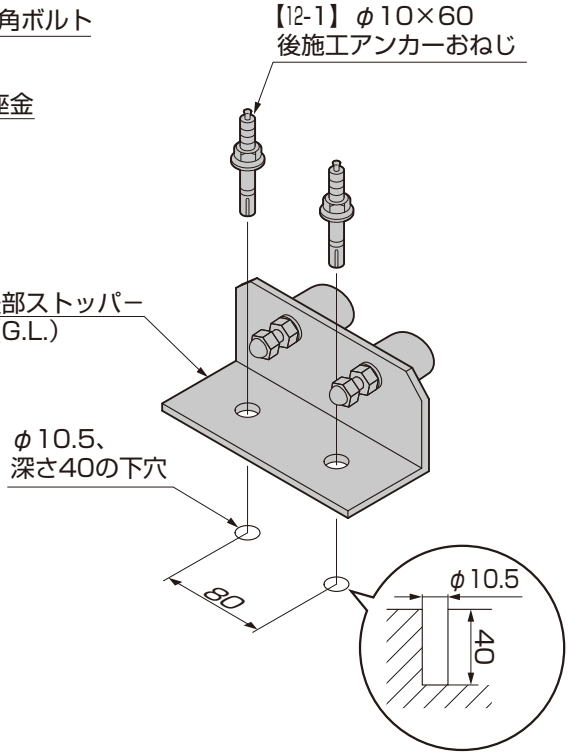
1-7　チェーンホルダA端部カバーの取付け



①チェーンホルダA端部カバーをチェーンケースに【6-10】で取付けてください。

1-8 前後ストッパーの取付け





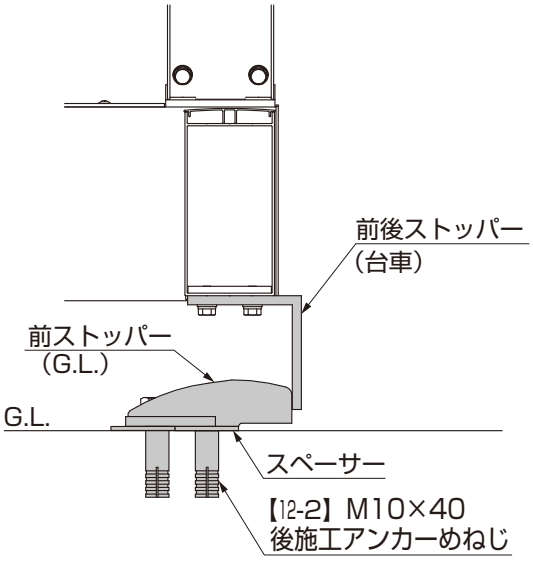


図1-1　全閉時

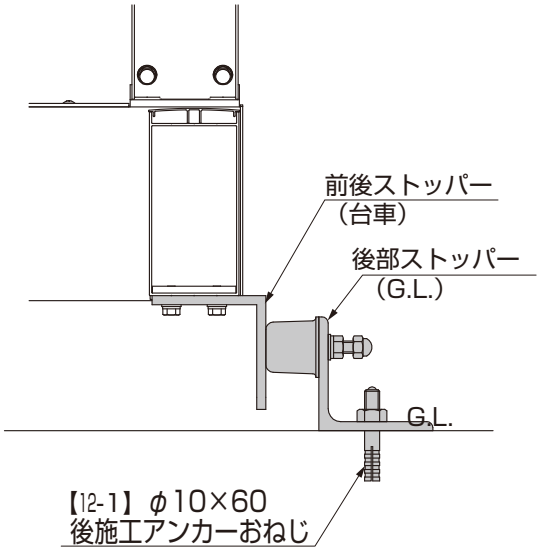


図1-2　全開時

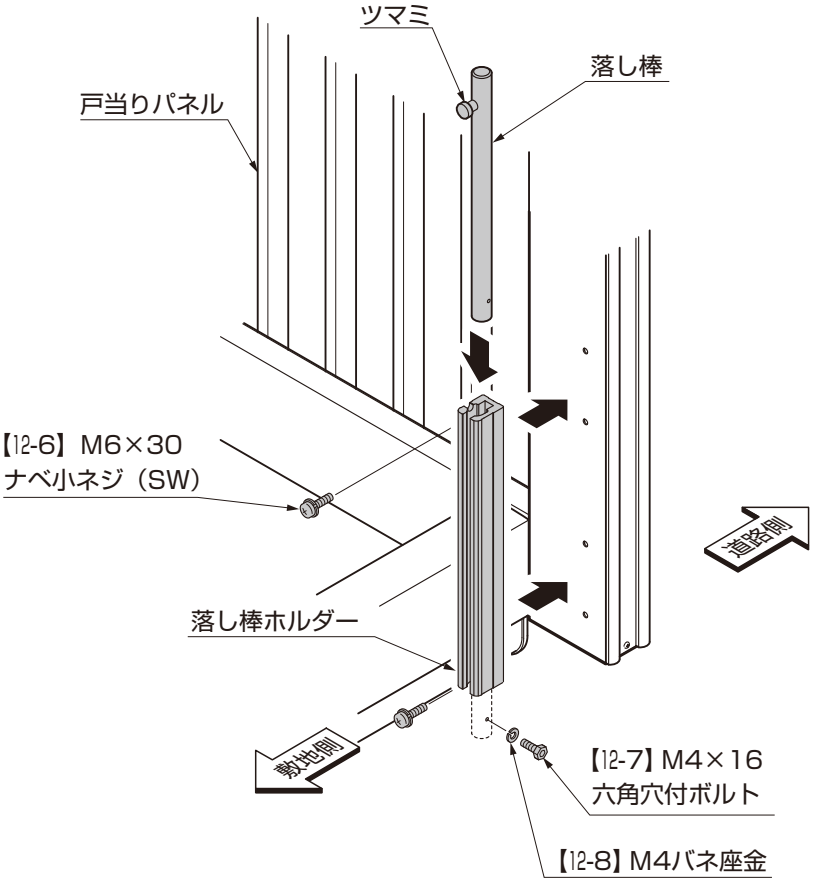
①前ストッパー、後部ストッパーは本体が組上がった後、現場の納まりに合わせて固定してください。

ポイント

- ●前後ストッパーと前ストッパー、後部ストッパーがそれぞれきちんと当たる位置に施工してください。
- ●ボルト、ネジ類は、ガタつきのないよう確実に締付けてください。

1-9 落し棒・落し棒受けの取付け

（1）落し棒の取付け

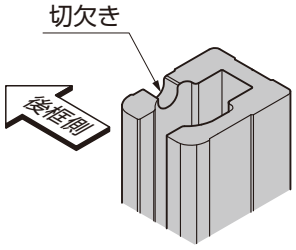


①落し棒ホルダーを戸当りパネル敷地側に【12-6】で取付けてください。

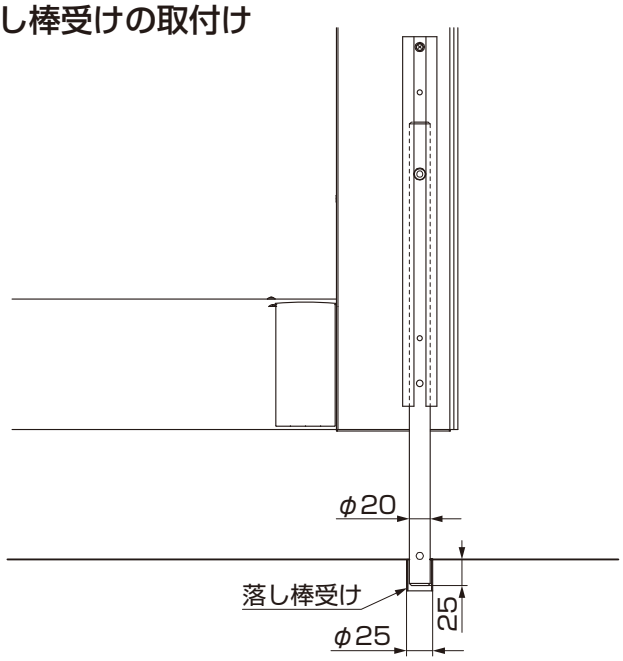
②落し棒を落し棒ホルダーに通してから【12-7】を取付けてください。

ポイント

●落し棒ホルダーは切欠き部が後框側になるように取付けてください。



（2）落し棒受けの取付け



①落し棒受けは、引戸を閉めた状態と開けた状態で、落し棒が落し棒受けに入る位置に各々埋込んでください。

取説コード
D630
JZZ634838
201504A_1039
201805C_1039